



一般社団法人 千葉県社会福祉士会

第12回定時総会

資 料

開催日： 2024年6月 23(日) 13:30～(受付 13:00～)

会 場： 千葉県社会福祉センター(3階 大会議室)

次 第

□議事

議案第1号 2023年度事業報告及び決算報告について1
(2023年度監事監査報告書)

議案第2号 役員の選任について39

報告事項

報告第1号 2024年度事業計画及び予算について40

総会に諮る事項は定款第 21 条に定められた事項に限られ、また法人法第 49 条第 3 項の規定により予め通知した事項以外を議決することはできません。

会員から本会へ意見発信する機会を保障するため、議案に対する意見募集を行います。

議案に対しご意見のある方は、本会 Web サイト (<http://www.cswchiba.com/>) を参照の上 2024 年 6 月 6 日 (木) から同 6 月 16 日 (日) 必着でご提出願います。

また郵送・ファックスでもご意見を承りますので、千葉県社会福祉士会事務局までご提出ください。

なお、寄せられたご意見は取りまとめの上、会員氏名 (姓のみ) および意見内容を Web サイトおよび総会会場にて公開いたします。予めご了承下さい。

<議案に対するご意見のご提出先>

※2024 年 6 月 16 日 (日) 必着

名称：一般社団法人 千葉県社会福祉士会 事務局

住所：〒260-0026 千葉県千葉市中央区千葉港 4-5

千葉県社会福祉センター5階

FAX：043-238-2867

2023 年度事業報告及び決算報告について

以下に掲載する 2023 年度事業報告書及び決算報告について、総会の承認を求めます。

2023 年度 事業報告

今年度の大きな変更点としては、年度当初に千葉県社会福祉センターの新設移行に伴い当会の事務局も同センター5階へ移転したことがあげられる。

また、会の活動としては、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、対面方式の活動を増やし会議等はオンラインも生かしながら開催した。

事業予算について、事業活動に基づく適正な事業の執行について、予算執行管理の在り方と強化の必要性が生じ、次年度に向けての課題となった。

2022 年度から開始した若年層の入会促進キャンペーン（30 歳以下を対象に入会金及び年会費を入会年度に限り無料とする）を継続し、103 名の入会者中 10 名が対象となった。

理事を中心に経営戦略会議を開催し、具体的な財政基盤の強化と組織率の向上に向けて検討、2023 年度は、委員会組織の見直し、ソーシャルワーカー活動圏域と連動するための地域再編について議論を重ねる中で、その前提として、会員活動を後押しできる事務局機能強化のために体制整備を進めることとなった。

経営戦略会議の結果を受け、2022 年度に、会員との交流を図る機会として開始した「談話室」を4回開催した。そのうち、総合相談委員会と共催したソーシャルワーカーカフェでは、既に開催してきた地域集会とは異なる参加者層につながるきっかけを作る場となった。今後は、議論の場を持つことから、具体的な作業を進めることに力点を移行し、経営戦略会議は終了し、三役会中心に会員活動を後押しできる事務局機能強化の体制整備を進めていくこととなった。

ソーシャルワーカーの団体として、会員の資質向上、キャリアアップを目指し 地域共生社会実現に向け、その活動を継続していくために高齢、障害、児童はもとより、社会課題である、いじめ、貧困、ヤングケアラー、虐待防止、権利擁護等についても検討した。

各委員会における専門的な活動を継続するとともに生活の困窮、孤独・孤立で悩んでいる方々に対して、「孤独・孤立相談ダイヤル」の相談対応に内閣府の求めに応じて協力した。また、新規に千葉県より障害分野の意思決定支援研修を受託し研修を開催した。

各自治体の委員等の推薦については、基本的な選考基準と推薦依頼先の希望を考慮して推薦を行った。

ICT 化の取り組みとしては、ぱあとなあ活報告システムの2年目の運用とペーパーレス化を開始した。順次、他の委員会等での活用を目指した。

ソーシャルワーク3団体として、千葉県医療ソーシャルワーカー協会、千葉県精神保健福祉士協会と協議を行った。

千葉県弁護士会、千葉県公認心理師協会を加えた5団体「福祉と司法の連絡協議会」では、「貧困問題に関する懇談会」、「暮らしとこころの相談会」への参加協力を行った。外国人の生きる権利を考える会に参画した。

日本社会福祉士会からの訪問による意見交換、関東甲信越地区ブロック協議会における情報や課題の共有を行った。

能登半島地震発生後に災害対策本部を立上げ、被災地支援の寄付や応援体制等について検討を開始した。

役員任期に伴う役員選挙について、選挙管理委員会を立上げた。候補者は定数により内定をした。また、代議員選挙については前回同様に定数を満たすことができなかった。今後の会活動において会員の協力の在り方が課題として残った。

事務局体制の見直しを図り、臨時の派遣職員の採用、就業規則等の見直しも含めた社会保険労務士との協議、新たな会計・経理システム、税理士法人のフォローによる業務省力化のための準備を行った。また、事務局と各委員会の役割分担についても継続課題となった。

苦情相談について、前年度と比較して増えた。

1. 総会及び理事会の開催と会の運営

【総会】

第 11 回定時総会

開催日 2023 年 6 月 25 日 千葉県社会福祉センター 大研修室
議案第 1 号 2022 年度事業報告及び決算報告について（2022 年度監事監査報告書）
議案第 2 号 役員の選任について
議案第 3 号 倫理委員会委員の選任について
議案第 4 号 ぱあとなあ運営委員会 前回報告の訂正について

【理事会】

第 1 回理事会

開催日 2023 年 5 月 14 日 千葉県社会福祉センター3 階 中会議室 2
出席者 樽林、山口、古澤、白井、秦野、伊藤、瀧澤、松本、浅見、石橋、宮下、服部、高橋
片山、中村、吉留、市原、岡本、渋沢
欠席者 及川、四ノ宮、山下、水野、竹嶋

< 議事・報告 >

- ・ 新入会員の承認について
- ・ 倫理員委員選考委員 2 名の指名について
- ・ 2023 年度第 11 回定時総会資料（案）について
- ・ 2022 年度事業報告の承認について。
- ・ 2022 決算報告の承認について
- ・ 監査報告について
- ・ 山下興一郎理事退任後の候補者菅野道生先生の承認について
- ・ 倫理委員会委員の選任について
- ・ 談話室の開催について
- ・ スーパービジョン時の当会 zoom 利用の許可について（研修委員会）

第 2 回理事会

開催日 2023 年 6 月 25 日 千葉県社会福祉センター 大会議室

出席者 樽林、山口、古澤、白井、秦野、及川、瀧澤、松本、浅見、四ノ宮、石橋、宮下、服部、高橋、中村、水野、吉留、市原、岡本、渋谷

欠席者 伊藤、高橋、片山、山下、竹嶋

<議事・報告>

- ・ 新入会員の承認について
- ・ 選挙管理員の公募について
- ・ 各種委員会委員の追加承認について

第3回理事会

開催日 2023年8月27日 千葉県社会福祉センター3階 中会議室2

出席者 樽林、山口、古澤、伊藤、白井、秦野、及川、瀧澤、浅見、四ノ宮、石橋、宮下、服部、中村、水野、吉留、片山、市原、岡本

欠席者 松本、高橋、菅野、渋谷、竹嶋

<議事・報告>

- ・ 新入会員の承認について
- ・ 選挙管理委員の公募状況について
- ・ 各委員会委員の追加承認について
- ・ ぱあとなあ規程改正について
- ・ 事業計画 予算提出、予算ヒアリングについて
- ・ 高齢者虐待研修の協力について
- ・ 保険証廃止に対する声明について
- ・ 学会出席の交通費支給について（司法福祉委員会）

第4回理事会

開催日 2023年11月5日 千葉県社会福祉センター3階 中会議室1

出席者 樽林、山口、古澤、伊藤、秦野、及川、松本、浅見、四ノ宮、石橋、宮下、服部、中村、水野、片山、市原、渋谷

欠席者 白井、瀧澤、高橋、吉留、菅野、岡本、竹嶋

<議事・報告>

- ・ 新入会員の承認について
- ・ 就業規則の改正について
- ・ 「規程第37号電子取引データの訂正及び削除の防止に関する事務処理規定（案）」について

第5回理事会

開催日 2024年1月21日 千葉県社会福祉センター3階 中会議室1

出席者 樽林、山口、古澤、伊藤、白井、秦野、及川、浅見、四ノ宮、石橋、宮下、服部、水野、片山、菅野、市原、岡本、渋谷

欠席者 松本、瀧澤、高橋、吉留、中村、竹嶋

<議事・報告>

- ・ 新入会員の承認について

- ・ ぱあとなあ名簿登録規程の改正について
- ・ 能登半島地震における対応について

第6回理事会

開催日 2024年3月17日 千葉県社会福祉センター3階 中会議室2

出席者 樽林、古澤、伊藤、白井、秦野、浅見、四ノ宮、石橋、宮下、服部、中村、市原、岡本、
渋沢

欠席者 山口、及川、瀧澤、松本、高橋、吉留、水野、片山、菅野、竹嶋

<議事・報告>

- ・ 新入会員の承認について
- ・ 2023年補正予算について
- ・ 2024年事業計画について
- ・ 2024年度予算について
- ・ ぱあとなあ（名簿登録規程の改正、委員長・副委員長の手当、運営規程の改正について）
- ・ 司法福祉マッチング支援要綱の改正について

経営戦略会議

開催日 2024年9月13日 ZoomによるWeb会議

出席者 樽林、山口、古澤、宮下、及川、浅見、白井、服部、高橋、岡本、石橋、秦野

開催日 2024年9月28日 ZoomによるWeb会議

出席者 樽林、山口、古澤、伊藤、秦野、及川、服部、宮下、松本、白井（記録）

<議事・報告>

〔経営戦略会議での意見〕

- ・ 財政基盤の強化と組織率の向上に向けて経営戦略会議で意見交換
- ・ 委員会組織の見直し、ソーシャルワーカー活動圏域と連動するための地域再編について議論
- ・ 子ども若者支援へのサポートに向けた取り組みを委員会活動に位置づけ検討必要
- ・ 組織の見直し等を進める前提として会員活動を後押しできる事務局機能強化を優先して進める

〔経営戦略会議後 来年度事業計画等での対応〕

- ・ 会員相互の交流が有効な地域再編案を作成したが変更による弊害が生じる可能性もあるため、世話人間の連携による合同開催や、地域集会の弾力的な運営による会員交流の場の拡充を図る
- ・ 会員に活動機会を情報提供するため広報誌と連動した会員への情報共有を図る
- ・ 議論の場を持つことから、具体的な作業を進めることに力点を移行するため、経営戦略会議は終了、三役会中心に会員活動を後押しできる事務局機能強化の体制整備を進めていくこととした。

●「談話室」の開催

2022年度から、会員が、ふらっと立ち寄り、何とはなしに、語り合えたり、他の人が語り合っている話を横で聞いていたりできる場が欲しいねということで、談話室を設けた。会員相互の交流の機会として開催した談話室は、参加者が限られるようになってきたことから廃止し、地域集会の弾力的な運営による会員交流の場の拡充と広報誌と連動した会員への情報共有、県内各地での集いの開催へと方法の見直しを進めていく。

- (第1回) 5月27日 19:00~20:30 しゃべり場 オンライン
 内容：地域共生社会への取り組み、精神的ストレスの負荷がかかる利用者との関わり
 参加者：7名（うち役員5名）
- (第2回) 6月25日 15:00~16:30 しゃべり場拡大版 千葉県社会福祉センター5階大研修室
 内容：しゃべりたいテーマでの情報交換、委員会等活動紹介
 参加者：36名（うち役員11名）
- (第3回) 8月27日 14:00~15:30 新千葉県社会福祉センター3階中会議室2
 内容：しゃべり場 5年後の自分と会の取り組み
 参加者：5名（うち役員3名）
- (第4回) 10月21日 14:00~16:30 (株)ベストサポート（千葉市西都賀）
 内容：社会福祉士が活躍している現場を見学、ディスカッション
 参加者：9名（うち役員3名）

2. (公社) 日本社会福祉士会への活動参加

- 綱紀委員会委員 市原 久夫
- 多文化ソーシャルワークプロジェクト委員会委員 南野奈津子
- 全国生涯研修委員会議 浅見雅人
- 2023年8月27日 高齢者・障害者虐待対応に関する事業説明会（ZOOM）
岡本崇広、滑川里美
- 2023年度都道府県社会福祉士会会長会議 樽林元樹
- 2023年9月9、10日 日本社会福祉士会2023年度スーパーバイザー養成研修 藤田理恵子
- 2023年6月28日 2023年度 都道府県士会体制整備支援連続勉強会
遠坂貴志、梶原幸夫、白井正和、市原久夫、秦野隆治、大藤康弘、根本優子、飯田義也
古澤肇、吉武美樹
- 2023年8月11日 倫理綱領・行動規範伝達研修 講師養成研修
市原久夫、石橋大輔、浅見雅人、堀江亜希子
- 2023年9月2日 2023年度日本社会福祉士会臨時総会（第1回） 樽林元樹
- 2023年9月2日、3日 2023年度都道府県社会福祉士会会長会議 樽林元樹
- 2023年9月26日 2023年度都道府県士会体制整備支援連続勉強会第2回
古澤肇、四ノ宮章、石橋大輔、市川久夫、千葉あき枝、堀越広喜、遠坂貴志、白井正和
梶原幸夫、吉武美樹
- 2023年10月29日 2023年度都道府県ぱあとなあ連絡協議会
古澤肇、四ノ宮章
- 2023年11月22日 都道府県士会体制整備支援連続勉強会第3回
市原久夫、梶原幸夫、古澤肇
- 2023年12月1日 ぱあとなあ活動報告システム県士会説明会
古澤肇、石橋大輔、四ノ宮章、堀越広喜、安藤宏之、小川知美、長尾景子、助川純子、
太田知美、吉田愛子
- 2023年12月3日 2023年度 都道府県社会福祉士会実習指導担当者会議 近藤涼子
- 2024年2月4日 スーパーバイザースキルアップ研修 石山明子

- 2024年2月10日・11日 2023年度基礎研修講師養成研修 俵はるみ、藤田理恵子
- 2024年2月17日～18日 リーガル・ソーシャルワーク研修（ファシリテーター） 宮下朱実
- 2024年2月25日 都道府県社会福祉士会災害担当者会議 服部明、伊藤佳世子

3. 本会が推薦した各種委員等

【外部委員(推薦)】

- 千葉市社会福祉協議会千葉市成年後見支援センター 日常生活自立支援事業契約締結審査会、法人後見業務審査会及び市民後見人審査会委員 石橋大輔
- 市原市障がい者支援課 市原市障害者介護給付費等審査会委員
大戸優子、飯田俊男、佐藤滋洋
- 柏市社会福祉協議会 かしわ福祉権利擁護センター 令和5年度候補者調整会議
四ノ宮章、岡田敬、太田和美
- 千葉県後見支援センター契約締結審査会委員 櫻井絢子
- 柏市地域包括支援課 柏市権利擁護ネットワーク会議(全体会)、高齢者に関する専門部会委員、成年後見制度に関する専門部会委員 古澤肇
- 流山市社会福祉協議会 流山市成年後見推進センター 地域ネットワーク会議委員 古澤肇
- 千葉県健康づくり支援課 令和5年度千葉県地域リハビリテーション協議会員 松本友寿
- 千葉県障害福祉課 「障害のある人もない人も共に暮らしやすい千葉県づくり条例」に基づく地域相談員 朽名高子、白井正和
- 千葉県高齢者福祉課 千葉県高齢者保健福祉計画策定・推進協議会委員 谷口さなえ
- 浦安市社会福祉協議会 浦安市社会福祉協議会理事 市川恵子
- 松戸市地域包括ケア推進課 松戸市成年後見制度利用促進協議会委員 四ノ宮章
- 袖ヶ浦市社会福祉協議会 権利擁護支援定例会議アドバイザー 梶原幸夫
- 習志野市社会福祉協議会 法人後見運営委員会委員 安藤宏之
- 千葉県社会福祉協議会 千葉県ボランティア・市民活動センター
千葉県新地域支援事業推進協議会幹事 白井正和
- 佐倉市社会福祉協議会 佐倉市成年後見支援センター 受任調整会議及び運営会議構成員
高美修次
- 八千代市社会福祉協議会
八千代市成年後見制度利用促進協議会設立準備会アドバイザー 市川澄子
- 日本社会福祉士会 多文化ソーシャルワークプロジェクト委員会委員 南野奈津子
- 君津市社会福祉協議会 君津市成年後見制度利用促進計画の策定に係る委員 遠坂貴志
- 我孫子市社会福祉課 我孫子市成年後見制度利用促進検討委員会委員 千葉あき枝
- 我孫子市社会福祉協議会 法人後見運営委員会運営委員 片野無事生
- 千葉県教育庁児童生徒安全課 第三者委員会委員 澁澤茂
- 千葉県介護支援専門員協議会 理事・代議員・予備代議員 渡辺哲也、長嶋祐一、齊藤志帆
- 鴨川市社会福祉協議会 安房地域権利擁護推進センター運営委員 川名真啓
- 鴨川市社会福祉協議会 成年後見制度利用促進マッチング会議委員 橋本道子
- 印西市企画政策課 印西市いじめ問題再調査委員会委員 高田俊彦
- 千葉県教育庁児童生徒安全課 第三者委員会委員 赤堀久美子
- 船橋市障害福祉課 船橋市障害者介護給付金等認定審査会委員 佐藤むつみ

【講師派遣・外部講師依頼】

- 2023年3月25日、11月21日 千葉県弁護士会 暮らしとこころの相談会(津田沼)
相談員 樽林元樹、山崎泰介、塩原貴子、間島淳子、樫尾則美
- 2023年4月22日、6月10日 佐倉市社会福祉協議会 市民後見人養成講座
講師 古澤肇
- 2023年5月～2024年2月 松戸市地域包括ケア推進課
地域巡回公演会・相談会(成年後見制度ほか) 古澤肇、四ノ宮章
- 2023年6月9日 佐倉市社会福祉協議会
日常生活自立支援事業生活支援員及び法人後見支援員研修 講師 白井正和
- 2023年7月18日 市川市社会福祉協議会
市川市高齢者サポートセンター 市民後見人養成研修講師 石橋大輔、長尾景子
- 2023年8月 千葉市社会福祉協議会 社会福祉士養成課程相談援助実習生講義
講師 竹嶋信洋
- 2023年10月31日 千葉市成年後見支援センター
市民後見人養成研修 講師 秦野隆治
- 2023年11月16日、11月21日 佐倉市社会福祉協議会 令和5年度介護職員初任者研修
講師 岡本崇広
- 2023年11月18日 市原市社会福祉協議会 令和5年度市原市市民後見人養成講座
講師 古澤肇
- 2023年12月8日 千葉県立松戸南高等学校 特別支援教育研修会 講師 古澤肇
- 2023年12月17日 千葉県社会福祉協議会 千葉県後見支援センター
令和5年度 楽しく学べる！はじめての成年後見講座 講師 古澤肇
- 2024年1月27日 佐倉市社会福祉協議会 千葉ファミリー相談室
四街道市市民後見人養成講座 講師 岡本祥子
- 2024年2月2日 千葉県高齢者福祉課
千葉県高齢者虐待防止対策研修(事業所向け) 講師 谷口さなえ
- 2024年2月4日 社労士成年後見千葉 養成研修修了者向けスキルアップ更新研修
講師 秦野 隆治
- 2024年2月 千葉市地域包括ケア推進課
高齢者虐待に関する(地域包括支援センター向け) 講師 宮間恵美子
- 2024年2月11日 神奈川県社会福祉士会 災害支援活動者養成研修 講師 服部明
- 2024年3月11日 市川市地域包括支援課
スーパービジョン基礎講義(地域包括支援センター職員向け) 講師 矢野明宏
- 2024年2月27日 船橋市役所高齢者福祉部
船橋市権利擁護サポーター養成講座フォローアップ研修 講師 山本誠一
- 2024年3月9日～10日 山武市社会福祉協議会 市民後見人フォローアップ講座
講師 古澤肇、秦野隆治

4. 後援・協賛

- 2023年9月2日 特定非営利活動法人リンク

- 特別勉強会「どうする!身寄りのない人の支援」 後援
- 2023年10月28日 社会福祉法人 大成会 (不二学園)
「第37回自閉症基礎研修」、「第12回事例検討グループワーク」 後援
- 2023年11月5日 千葉県がん患者大集合2023実行委員会
「千葉県がん患者大集合2023」 後援
- 2023年11月12日 千葉県歯科医師会
「ちば県民いい歯とお口の健康ウイーク ～いい歯のイベント2023～」 後援
- 2023年11月14日 千葉県社会福祉協議会 第73回千葉県社会福祉大会 後援
- 2023年12月4日～2024年1月31日(動画配信) 成田市社会福祉協議会
精神障がい者ピア・サポーター養成講座(開催記念講演会) 後援
- 2023年12月17日 訪問介護フォーラム実行委員会事務局
「訪問介護フォーラム2023」 後援
- 2024年2月15日～2024年3月31日(動画配信) 成田市社会福祉協議会
精神障がい者ピア・サポーター養成講座 後援
- 2024年2月18日～2024年3月24日(動画配信) (一社)千葉県作業療法士会
第25回千葉県作業療法士学会 後援
- 2024年2月23日 社会福祉法人 大成会 (不二学園)
「第38回自閉症・発達障害基礎研修」 後援

5. その他の活動

【内閣府への参加】

- 「孤独・孤立相談ダイヤル」相談対応
2023年12月15日～2024年1月3日 14人
樽林元樹、伊藤佳世子、服部明、渋沢茂、前田久美子、高木憲司、青木一磨、堀江亜希子、小林美和、高梨子淳一、佐藤公美子、加藤聡子、鳥海武之、塩原貴子

【千葉県への協力】

- 2023年6月7日、8月7日、11月13日、1月10日、3月19日
千葉県高齢者保健福祉計画策定・推進協議会(第1回～第5回) 谷口さなえ
- 2023年8月7日 千葉県教育庁児童生徒安全課
令和5年度千葉県いじめ問題対策連絡協議会 山田茜
- 2023年7月24日、11月1日、3月21日 千葉県健康福祉部健康づくり支援課
令和5年度千葉県地域リハビリテーション協議会(第1回～第3回) 松本友寿
- 2023年9月2日 千葉県防災危機管理部災害対策室 九都県市合同防災訓練(千葉会場)
服部明(マッチング班)
- 2023年11月 千葉県健康福祉部健康福祉指導課 千葉県ホームレス自立支援推進会議
山崎泰介
- 2023年12月18日 千葉県障害者福祉推進課
令和5年度千葉県高次脳機能障害ネットワーク連絡協議会 白井正和

【千葉県社会福祉協議会への協力】

- 2023年 令和5年度第1回理事会(同意書 郵送) 樽林元樹
- 2023年6月6日 令和5年度第2回理事会(オンライン) 樽林元樹
- 2023年6月9日 千葉県介護保険関係団体協議会 令和5年度総会・第1回幹事会
松本友寿
- 2023年8月9日 千葉県後見支援センター
第4回 成年後見制度利用促進 都道府県交流会 古澤肇
- 2023年8月17日 千葉県ボランティア・市民活動センター
令和5年度 千葉県災害ボランティアセンター連絡会 第2回定例会 服部明
- 2023年9月5日～10月19日 後見支援センター 後見制度利用促進地区別意見交換会
9月5日(館山支部)-遠坂貴志、9月13日(市川出張所)-吉武美樹、
9月20日(松戸支部)-古澤肇、9月21日(佐原支部)-根本優子、
9月29日(一宮支部)-遠坂貴志氏、10月10日(佐倉支部)-堀越広喜、
10月11日(千葉家裁本庁)-石橋大輔、10月13日(八日市場支部)-白井正和、
10月19日(木更津支部)-梶原幸夫
- 2023年9月15日 千葉県ボランティア・市民活動センター
災害支援ネットワークちば(CVOAD) 台風13号災害支援関係者 情報共有会議 服部明
- 2023年9月15日 千葉県後見支援センター
成年後見制度利用促進体制整備アドバイザー派遣 大網白里市 白井正和
- 2023年9月27日 千葉県後見支援センター
後見制度利用促進体制整備に係る担当職員勉強会 遠坂貴志
- 2023年10月25日 千葉県後見支援センター
令和5年度成年後見制度利用促進セミナー 古澤肇
- 2023年12月17日 千葉県後見支援センター
令和5年度 楽しく学べる!はじめての成年後見講座 石橋大輔、長尾景子、堀越広喜
- 2023年12月19日 令和5年度第4回理事会(ZOOM出席) 樽林元樹
- 2023年10月24日、12月1日、11月7日 千葉県後見支援センター
成年後見制度利用促進体制整備アドバイザー派遣 遠坂貴志
(10月24日・白子町、12月1日・いすみ市、11月7日・睦沢町)
- 2023年11月24日、12月25日 千葉県後見支援センター
成年後見制度利用促進体制整備アドバイザー派遣
(11月24日、勝浦市)遠坂貴志、(1月15日、茂原市)古澤肇
(2月1日、旭市)白井正和 古澤肇
- 2024年2月28日 千葉県後見支援センター
令和5年度成年後見制度利用促進体制整備のための千葉県域会議
アドバイザー派遣 古澤肇
- 2024年3月18日 千葉県ボランティア・市民活動センター
令和5年度千葉県新地域支援事業推進協議会 第2回幹事会 白井正和

【市町村及び他団体への協力】

- 2023年4月3日 淑徳大学 入学式 白井正和
- 2023年5月27日 千葉司法書士会 令和5年度(第63回)定時総会懇親会 古澤肇

- 2023年6月14日 厚生労働省主催 第2回成年後見制度利用促進都道府県交流会 古澤肇
- 2023年7月31日 市川市福祉部地域包括支援課
市川市成年後見制度等地域連携ネットワーク会議 吉武美樹
- 2023年8月27日 日本社会福祉士会 高齢者・障害者虐待対応に関する事業説明会 (ZOOM)
岡本崇広、滑川里美
- 2023年10月29日 習志野市社会福祉協議会 令和5年度 習志野市福祉ふれあいまつり
山本誠一
- 2023年9月16日 千葉県弁護士会 暮らしとこころの相談会(四街道)
相談員 服部明、及川哲
- 2023年11月7日 船橋市地域包括ケア推進課
令和5年度第2回船橋市権利擁護支援等推進協議会 山本誠一
- 2023年11月26日 千葉県精神保健福祉士協会 50周年記念式典 伊藤佳世子
- 2023年12月12日 日本司法支援センター(法テラス) ワンストップ相談会 in 千葉
星崎徹、布施成章、谷口さなえ、田中章友、仲野勢津子、堀江亜希子
- 2023年12月19日 東京社会福祉士会 関東甲信越ブロック県士会災害支援連絡会(ZOOM)
服部明、星野渉、都筑裕子
- 2024年1月28日 東京社会福祉士会
関東甲信越ブロック生涯研修センター協議会(ZOOM) 荻野史啓
- 2024年2月3日 日本社会福祉士会 関東甲信越ブロック連絡協議会
2023年度関東甲信越ブロック連絡協議会 樽林元樹、白井正和
- 2024年2月16日 千葉家庭裁判所 家事関係機関との連絡協議会 古澤肇
- 2024年2月24日 東京社会福祉士会 2023年度関東甲信越ブロックぱあとなあ連絡会
古澤肇、堀越広喜

6. 各委員会・部会

(1) 総務委員会

①企画部会

- 企画部会・世話人合同会議

(第1回) 日時：7月8日(土) 19:00~20:30 参加者：11名

① 報告事項

- ・千葉県社会福祉士会の重点目標
- ・企画部会の目標：地域集会の再開、未開再築のテコ入れ、新入会員との交流
- ・地域集会 世話人以外の開催承認、支援の依頼

② 協議事項

今年企画したい地域集会、新入会員が参画しやすくなる企画

(第2回) 日時：3月7日(月) 19:00~20:00 参加者：5名

① 報告事項

各地域集会取組について

② 協議事項

令和6年5月の「孤独・孤立対策強化月間」取組み登録について

ア 地域集会

2021年度に地域集会開催要綱を改訂し、世話人以外の会員が、自主的な企画を地域集会として企画し開催、会員への周知、費用の補助等を活用できることとしたことにより、7回、他団体と共催により開催された。大規模な参加者を抱える団体との連携により前年度の倍以上参加者数となった。

会報誌「点と線」やホームページで、世話人以外からの地域集会企画をPRし、世話人が未設置の地域からも有志による新たに地域集会開催に至った。

<地域集会開催内容> 延べ16回 691名（前年度延14回 243名）

	地域	内容	開催場所・形式	参加人数
4月8日（土） 10：00～12：00	千葉市花見川区・習志野市・八千代市地区+船橋市・鎌ヶ谷市地区合同地域集会	個別避難計画作成を通じて地域社会の状況とソーシャルワークのかかわりを考える	オンライン	7名
5月17日（水） 19：00～21：00	第95回福祉道場（柏・我孫子・野田・流山地域集会）	インタビューする側される側でトーク力を鍛える	柏市社会福祉協議会いきいきプラザ	15名
7月19日（水） 19：00～21：00	第96回福祉道場（柏・我孫子・野田・流山地域集会）	参加者の近況報告によるネットワークの再構築	くすお	15名
8月20日（日） 13：30～16：30	拡大地域集会 〔浦安・市川子ども・若者アドボカシー推進プロジェクト共催〕	「こどものために」から「こどもとともに」歩む地域社会へ	浦安市民プラザ	92名
9月2日（土） 13：30～16：30	千葉市地域集会 〔NPO法人リンク共催〕	どうする?!身寄りのない人の支援	千葉県社会福祉センター2階 研修室A	150名
9月20日（水） 19：00～21：00	第97回福祉道場（柏・我孫子・野田・流山地域集会）	意見交換会「不自由な福祉」って感じたことないですか？	オンライン	10名
9月23日（土） 13：00～16：00	君津圏域地域集会 〔中核地域生活支援センター君津ふくしネット共催〕	現場とちいきづくりに活きる「新時代へ」	木更津市金田地域交流センター	80名
10月8日（日） 14：00～17：00	印旛地域合同地域集会 （佐倉・八街・四街道地区+印西・白井・富里・成田・栄・酒々井地区）	重層的支援体制整備事業について～重層的支援体制整備事業における社会福祉士の役割とは？～	公津の杜コミュニティセンター もりんぴあこうづ	47名

12月1日(金) 18:30~20:30	市原地区地域集会	施設見学	社会福祉法人みらい工房つむぎ	22名
11月15日(水) 19:00~21:00	第98回福祉道場(柏・我孫子・野田・流山地域集会)	相談援助職が災害時に備え、知っておくべきこと	柏市社会福祉協議会いきいきプラザ	9名
12月23日(土) 9:50~17:00	4地区合同地域集会(千葉市緑区・若葉区・中央区+千葉市稲毛区・美浜区+千葉市花見川区+習志野市・八千代市+船橋市・鎌ヶ谷市) (CHIBASHI こども若者未来会議実行委員会共催)	基調講演「超人口減少時代の全世代型社会保障」	千葉県立保健医療大学幕張キャンパス	100名
1月17日(水) 19:00~21:00	第九十九回『福祉道場(柏・我孫子・野田・流山地域集会)』	子どもの福祉のこと、一緒に考えませんか?	オンライン	12名
1月20日(土)14:00~17:00	印旛地域合同(佐倉・八街・四街道地区+印西・白井・富里・成田・栄・酒々井地区) (精神保健福祉士協会共催)	「山武がつながる劇団」のミニ動画をもとにした事例検討~複合的な課題を抱えた要介護高齢者世帯への関わり方~	成田市勤労会館大会議室	30名
1月27日(土) 10:00~12:00	千葉市地域集会 千葉市中央区地域活性化事業「中央区妊娠や出産時から高齢期までの支援を考える会」共催	全世代包括的に垣根なく支援する地域を目指して~母子支援からみえること~をテーマに講演会とパネルディスカッション	千葉市文化センター	47名
2月11日(土) 13:30~17:00	中央ブロック(千葉市、市原市、茂原市、いすみ市、夷隅郡(大多喜町、御宿町)、勝浦市、長生郡(一宮町、白子町、長生村、長南町長柄町、睦沢町)) (一般社団法人千葉県精神保健福祉士協会共催)	事例を通じた分野・地域を超えた意見交換会 ① 災害時高額の請求を受けた方を法律家と連携して支援したケース② 精神疾患を抱えている母子に対して危機介入したケース③ 地域移行が進む中で地域との折り合いがあわないグループホームとの接点をいかに作るか	千葉県社会福祉センター	33名
3月20日(水) 19:00~21:00	第100回福祉道場(柏・我孫子・野田・流山)	参加者の近況報告によるネットワークの再構築	くすお	22名

イ 組織強化のための他の職能団体との協働研究

● 千葉県ソーシャルワーカー三団体連絡協議会

千葉県医療ソーシャルワーカー協会、千葉県精神保健福祉士協会と協議を行い、研修を実施。

『地域で生きる』を支援する～かかわり・つながり・協働する～外国人支援の基礎知識

開催日：2月18日（日）13時半～17時

場 所：館山病院+オンライン

参加者；42名

内 容：(1)活動発表 ①安房地域高齢分野 ②安房地域医療分野 ③安房地域 障害分野
④東葛地域 地域福祉・地域包括支援C分野
(2)意見交換 (3)施設見学

● 福祉と司法の千葉県連絡協議会

2017年千葉県弁護士会の呼びかけで誕生した。千葉県医療ソーシャルワーカー協会、千葉県精神保健福祉士協会、千葉県公認心理師協会を加えた5団体。外国人の生きる権利を考える裁判の報告を共有し、外国人の生きる権利を考える会立ち上げに参画。

● 「暮らしとところの相談会」相談員派遣

開催日：9月16日（土）13：00～16：00

場 所：四街道市総合福祉センター

派遣相談員：服部明、及川哲

開催日：3月23日（土）13：00～16：00 自殺対策強化月間全国一斉開催

場 所：茂原市東部台文化会館

派遣相談員：工藤健、福井真一、渋沢茂

②広報部会

ア 機関紙「点と線」発行 2023年度 年3回発行

zoomを活用したインタビュー方式を新たに取り入れ、対談形式での記事づくりに新たに取り組みました。また、表紙に掲載広告を導入し、会の収入確保に取り組みました。

（実績：広告掲載6回（2社）11,000円×6=66,000円）

● 第112号

〈特集〉「つながりを創る 社会福祉士会で自分を活かそう」では、当会会長を含む5名の方からお話を伺っています

また、各委員会の紹介も掲載しています

- ・ コラム スーパービジョン体験談
- ・ 私が学んだ対人援助

- ・ 地域集会
- ・ ストレートネックマン
- ・ 社会福祉士の輪
- ・ 事務局便り 2023年7月 12頁 2,500部発行

配布 会員数 1,641名(発送 1,105件、メール配信 536件)、関係団体 928件

● 第113号

《特集》 「こどものためのソーシャルワーク」

- ・ 社会福祉士のわ
- ・ ストレートネックマンの部屋
- ・ 基礎研修Ⅰ 参加報告
- ・ 被災地支援活動協力員名簿登録
- ・ 認定社会福祉士の声
- ・ 地域集会
- ・ 事務局便り 2023年11月 12頁 2,500部発行

配布 会員数 1,641名(発送 1,105件、メール配信 536件)、関係団体 928件

● 第114号

《特集》 他分野を他人ごとにしな

- ・ 子ども若者支援アンケート結果報告
- ・ 社会福祉士のわ
- ・ 認定社会福祉士の「こえ」
- ・ コラム～千葉刑務所の福祉専門官
- ・ ストレートネックマンの部屋
- ・ 事務局便り

2024年3月 12頁 2,500部発行

配布 会員数 1,636名(発送 1,096件、メール配信 540件)、関係団体 926件

※ 配布先の関係団体

相談機関窓口や地域包括支援センター、市町村社会福祉協議会、社会福祉士養成校等

イ ホームページの維持・管理

● 研修、求人などの情報提供

イベント掲載 144件、本会主催の研修 53件

求人情報 91件

ウ 広報部会の開催

編集会議、編集作業、発送作業（各年3回）

※発送作業は障がい者就労支援事業所に委託した。

(2) 総合相談委員会

今年度も高齢者虐待防止対策研修および高齢者虐待対応現任者標準研修事業（受託事業）を千葉県から委託を受け開催。昨年度と同様に、新型コロナウイルス感染予防のためオンライン開催とした。来年度は一部対面も取り入れ、オンライン含めハイブリッド開催を計画している。

①高齢者虐待防止事業

ア 高齢者虐待防止対策研修および高齢者虐待対応現任者標準研修事業（受託事業）

- 管理職、初任者向け

開催日：2023年8月31日(月) PC接続台数 141台

開催方法：ZOOM オンライン研修

- 現任者向け（市町村・地域包括職員向け）

開催日：2023年11月5日(月) PC接続台数 109台

2023年12月6日(火) PC接続台数 107台

2023年12月14日(月) PC接続台数 107台

開催方法：ZOOM オンライン研修

- 専門研修（市町村・地域包括職員向け）

開催日：2024年2月8日(火) PC接続台数 170台

開催方法：ZOOM オンライン研修

イ 高齢者虐待対応専門職チームへの参加（受託事業）

- ・ チームメンバー派遣回数 4回

②相談事業

習志野市福祉まつり 社会福祉士会 PR 活動と福祉相談ブース

開催日：2023年10月29日（日） 習志野市役所

③ソーシャルワーカーカフェ

新たな取り組みとして、社会福祉士が実践している現場を見学し意見交換することで、新たな視野と社会福祉士同士の繋がり構築を目的に開催した。

開催日：2023年10月20日

場所：(株) ベストサポート

参加者：6名 松本理事 山口理事

(3) 研修委員会

感染緩和に伴い、基礎研修Ⅰはすべて集合研修に切り替えたが、基礎研修ⅡⅢについては、オンライン研修とeラーニング及び集合研修を兼ねた研修を実施した。社会福祉士実習指導者研修は、引き続き感染対策の徹底をし、集合型研修にて開催、社会福祉士国家試験対策講座は新たな試みとしてYouTube動画撮影を行った。

①委員会・部会会議

○2023年5月10日19：00～20：30リーダー会議（zoom会議）

出席者：浅見雅人、白井正和、堀江亜希子、矢戸孝紀、竹村葉子

- ・ 新基礎研修Ⅲリーダー 挨拶
- ・ 基礎研修ⅠⅡⅢ 受講者数について
- ・ 委員会内の情報共有

○2023年6月21日19：00～21：50リーダー会議（zoom会議）

出席者：浅見雅人 堀江亜希子、矢戸孝紀、近藤涼子、福間勝可 白井正和

- ・2023年度の受講料について
- ・事務局との連携について

○2023年8月23日19：00～21：50リーダー会議（zoom会議）

出席者：浅見雅人 堀江亜希子、矢戸孝紀、近藤涼子、福間勝可

- ・2023年度 基礎研修 日程予定
- ・日本社会福祉士会主催 各研修養成講座参加報告
- ・2024年度の今後の研修企画について

○2023年10月24日19：00～21：30リーダー会議（zoom会議）

出席者：浅見雅人 堀江亜希子、矢戸孝紀、近藤涼子

- ・基礎研修 I II IIIの現状報告
- ・和洋女子大学受験対策について
- ・実習指導者養成講座の日程調整
- ・新たな研修企画の具体的な検討について

○2023年12月7日19：00～21：00リーダー会議（zoom会議）

出席者：浅見雅人 堀江亜希子、矢戸孝紀、近藤涼子、竹村葉子

- ・基礎研修 I II IIIの現状報告
- ・実習指導者講習会実施報告
- ・研修委員会 2024年度 予算内容について

○2024年1月25日18：30～20：30リーダー会議（zoom会議）

出席者：堀江亜希子、矢戸孝紀、竹村葉子 近藤涼子、浅見雅人 萩野史啓

- ・基礎研修 I II III 現状報告
- ・国家試験支援チームの編成について
- ・和洋女子大学受験対策講座について
- ・社会福祉士受験対策コメント作成担当者調整

○2024年2月13日 18：30～20：30リーダー会議（zoom会議）

出席者：堀江亜希子、矢戸孝紀、竹村葉子 近藤涼子、浅見雅人 萩野史啓

- ・基礎研修 I II III 現状報告
- ・淑徳大学との実習指導フォーロアアップ合同研修の検討について
- ・再作成の予算について
- ・新委員の加入について

○2024年3月21日 18：30～20：30リーダー会議（zoom会議）

出席者：堀江亜希子、矢戸孝紀、竹村葉子 近藤涼子、浅見雅人 萩野史啓

- ・基礎研修 I II III 現状報告

- ・国家試験解答解説の作成担当の調整について
- ・全体会議の日程調整について

○2023年7月22日 19:00~20:00 全体会議（ZOOM会議）

出席者：浅見雅人、白井正和、竹村葉子、矢戸孝紀、助川純子、三瓶雅俊、萩野史啓、
塩原貴子、吉田志保、近藤涼子、古川由布子、佐藤滋洋、小西礼子、小野寺浩、
石山明子、俵はるみ、福間勝可、立川大輔、佐藤裕幸、堀江亜希子、

- ・研修員会の目的及び構成
- ・基礎研修Ⅰ～Ⅲの申し込み状況
- ・新たな企画について

○2024年3月31日（木）9:00~21:00 全体会議（集合型会議）

場所：千葉県社会福祉センター3階会議室

出席者：浅見雅人、堀江亜希子、矢戸孝紀、石山明子、小野寺浩、佐藤滋洋、
三瓶雅俊、塩原貴子、助川純子、田井忍、俵はるみ、仲野勢津子、
日野口育美、吉田志保、吉田光成、近藤涼子

- ・2024年度の委員会の予算及び事業計画を発表
- ・基礎研修ⅠⅡⅢ スタッフ、ファシリテーター募集について
- ・グループワーク 「こんなことなら私できるかも！やってみたい！こんな研修！」

○2023年9月21日 15:00~16:00（集合型会議）

場所：ジェイシー教育研究所 相談室

出席者：ジェイシー教育研究所：堀洋一

千葉県社会福祉士会：浅見雅人、福間勝可、宮本哲男

- ・現在の赤まる福祉（受験対策ソフト）の現状報告
- ・千葉県社会福祉士会の現状報告
- ・模擬試験等の作成費用のアップについて

○2023年10月11日 19:00~20:30 基礎研修Ⅲ運営会議（zoom会議）

参加者：田尻真人、近藤涼子、竹村葉子、浅見雅人

- ・基礎研修Ⅲの研修の質向上について

○2023年7月25日 19:00~20:15 和洋女子大学講師派遣受験対策会議

（大学側のオンライン機器使用）

大学側：板倉香子先生 二宮裕子先生 高木憲司先生

千葉県社会福祉士会：吉田志保 宮本哲男 浅見雅人

- ・2022年の傾向について
- ・和洋女子大学内での受験対策について
- ・2023年度のやり方について

○2023年9月6日 19:00~20:15 和洋女子講師担当者会議 (zoom会議)

出席者：浅見雅人、石山明子、吉田志保、宮本哲男、市原久夫、岡本崇広 塩原貴子
相澤雅則、矢野明宏、福間勝可

①和洋女子大学への現地までの案内と緊急対応について

和洋女子大学の協議した報告と各講師内容の統一化

②会議の役割分担について

2024年度の新たな研修企画及び現存する研修の質向上を図るため、リーダー会議と全体会議に絞って対応しているが、2024年度は、基礎研修ⅠⅡⅢを主体にした会議を加え、より運営面での効率化を図っていく。

③その他、受託事業について

淑徳大学への講師派遣事業は社会福祉士のカリキュラム変更より2023年度で終了となる。和洋女子大学社会福祉士受験対策講座は大学の経営的な理由により2023年度で終了となる。日本社会福祉士会の受託事業として地域共生社会の実現及び倫理綱領研修では2024年度開催に向けて準備を進めている。

④研究大会 県民公開講演

2023年度は、対象講演がない為、中止とした

⑤主な研修事業

基礎研修Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ等

● 基礎研修Ⅰ (一部eラーニング受講及びZOOMにて実施)

第1回：2023年9月2日(土) 9:30~17:00

講師：各委員会委員長、堀江亜希子 受講者59名

第2回：2024年2月4日(日) 9:30~17:00

講師：堀江亜希子 受講者52名

● 基礎研修Ⅱ (ZOOMオンライン研修、☆目印：集合研修にて実施)

第1回：2023年6月11日(日) 9:30~17:00 講師：小野寺浩 受講者37名

第2回：2023年7月16日(日) 9:30~17:00 講師：小野寺浩 矢戸孝紀 受講者38名

第3回：2023年8月20日(日) 9:30~17:00☆ 講師：小野寺浩 受講者36名

第4回：2023年9月24日(日) 9:30~17:00 講師：矢戸孝紀 受講者36名

第5回：2023年10月8日(日) 9:30~17:00☆ 講師：矢戸孝紀 受講者37名

第6回：2023年11月12日(日) 9:30~17:00 講師：石山明子 受講者36名

第7回：2023年12月3日(日) 9:30~17:00 講師：石山明子 受講者37名

第8回：2023年1月14日(日) 9:30~17:00 講師：石山明子 受講者37名

第 9 回：2024年 2 月18日（日）9:30～17:00 講師：矢戸孝紀 受講者37名
第10回： 2024年 3 月17日（日）9:30～17:00☆ 講師：石山明子 受講者36名

● 基礎研修Ⅲ（ZOOMオンライン研修、☆目印：集合研修にて実施）

第 1 回：2023年 6月10日（土）9:30～17:00 講師：浅見雅人 受講者41名
第 2 回：2023年 7月15日（土）9:30～17:00 講師：浅見雅人 受講者43名
第 3 回：2023年 8月19日（土）9:30～17:00 講師：竹村葉子 受講者43名
第 4 回：2023年 9月23日（土）9:30～17:00 講師：宮本哲男 受講者44名
第 5 回：2023年 10月7日（土）9:30～17:00 講師：宮本哲男 受講者43名
第 6 回：2023年 12月2日（土）9:30～17:00 講師：依はるみ 受講者42名
第 7 回：2024年 1月13日（土）9:30～17:00☆ 講師：依はるみ 受講者42名
第 8 回：2024年 2月17日（土）9:30～17:15☆ 講師：浅見雅人 受講者43名

※基礎Ⅰ～Ⅲ いずれも、第1回開講前に接続テストを行い、受講生の受講環境の確認等を実施

● 社会福祉士実習指導者養成研修

2023年11月25日（土）、2023年11月26日（日）

開催場所：千葉県社会福祉研修センター2階会議室

講師：田尻真人、白井正和、神山裕也

受講者（修了者）：36名

● 和洋女子大学での授業（全19科目）

2023年10月17日（火）～2023年12月26日（火）

講師名（担当科目）

相澤雅則（保健医療サービス、人体の構造及び疾病）

吉田志保（障害者に対する支援と障害者自立支援制度、就労支援サービス）

鈴木将人（低所得者に対する支援と生活保護制度）

福間勝可（社会調査の基礎、現代社会と福祉、心理学理論と心理的支援）

赤堀久里子（相談援助の理論と方法）

岡本崇広（児童・家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度、社会理論と社会システム）

浅見雅人（福祉行財政と福祉計画、社会保障、直前対策講義）

矢野明宏（福祉サービスの組織と経営、地域福祉の理論と方法）

市原久夫（権利擁護と成年後見制度）

塩原貴子（高齢者に対する支援と介護保険制度）

石山明子（更生保護制度、相談援助の基盤と専門職）

【ジェイシー教育研究所Web模試問題作成】

- 2023年度 ジェイシー国家試験受験対策
 - ・ 2023年8月 模擬試験問題 19科目・150問納品
 - ・ 2024年2月 国家試験解答分析（速報コメント作成）
 - ・ 2024年3月 国家試験解答解説 19科目・150問納品

【養成・教育機関との連携事業】

- 淑徳大学への講師派遣
 - ・ 科目名 : 卒後教育と人間開発 I (前期/後期)
 - ・ 開催場所: 淑徳大学
 - ・ 連携団体: 千葉県精神保健福祉士協会、千葉県医療ソーシャルワーカー協会、
千葉県弁護士会 社会福祉委員会

1) 授業目的

本講座は、社会福祉実践教育（専門）の「総仕上げ」として位置づけ、柔軟な思考力や行動力を養うことを目的とする。授業では、千葉県社会福祉士会等職能団体、千葉県弁護士会社会福祉委員会所属の有志弁護士、マスコミ等の協力を得て実施する。

2) 授業内容

テーマは、以下の二つである。

一つ目のテーマ（前期）は「ソーシャルワークの実際」を各方面から理解、体験することである。事例を用いて、現場のソーシャルワーク実践や関連する領域について概説する。

二つ目のテーマ（後期）は「実践とソーシャルワーカー」について考えることである。多職種連携が必須の現代にあって、関係機関、専門職、行政、さらには住民・住民組織との協働も展開される時代において、講義や事例検討を通してソーシャルワーカーとしての立脚点等を学ぶ。

前期後期ともに、学外講師による講義や事例演習と本学教員によるふりかえりを繰り返して展開される。

3) 到達目標

特定領域に特化せず、ジェネラリストソーシャルワーカーとしての視点、知識、技術、姿勢の醸成。前学期、後学期を通じた、演習等による支援のソーシャルワーク実践力、支援のネットワークづくり形成力、コーディネート力等基礎の醸成。

4) 講師

宮間恵美子、田尻隆、鈴木将人、松本拓馬、平野香、田中悦子

⑥日本社会福祉士会主催委員会及び各種研修への委員派遣について

- 2023年度 第1回 全国生涯研修委員会会議（ZOOM）

2023年5月14日（日）13：00～16：20

テーマ：オンライン研修の先事例発表、オンライン研修の課題

出席者：浅見雅人

● 2023年度 第2回 全国生涯研修委員会 会議（ZOOM）

2023年9月23日（土）11：00～16：30

出席者：福間勝可

テーマ： グループスーパービジョンに関する調査結果
受講者への個別対応、若年層にむけた研修

● 2023年度 生涯研修センター 関東甲信越ブロック会議

2024年1月28日（日）10：00～12：10 会議（zoom）

出席者 萩野史啓

基礎研修に対する意見交換

● 2023年度基礎研修講師養成研修

2024年2月10日（土）、2024年2月11日（日）開催（ZOOM）

日本社会福祉士会主催 令和5年度基礎研修講師養成研修 2名推薦

推薦者： 藤田理恵子、俵はるみ

（4）権利擁護センターぱあとなあ千葉運営委員会

2023年度、ぱあとなあ千葉の事業報告として、後見人等の受任件数 2107 件、登録員 341 名となった。家裁からの依頼が 520 件となり、全体で過去最高の状況であり、登録員、運営委員、事務局ともに、多忙であり、協力しあい、乗り切った年度とも言える。この依頼数の増加傾向は、今後も同等に続く予測があり、運営規程、名簿登録規程をはじめ、体制整備を進めていく必要がある。

国の第2期成年後見制度利用促進計画では、地域共生社会を目指した、権利擁護支援の一つとして成年後見制度の考え方が示された。また、各自治体では、地域の実情にあわせた動きがあった。ぱあとなあ千葉の社会的使命、必要とされる職能団体としての役割、責任がある。「意思決定支援」「チームケア（権利擁護支援チーム）」「地域連携ネットワーク」「中核機関の役割、機能」「適切な選任と交代」「苦情受付体制」が、大事なキーワードとなっている。

ここ数年、ぱあとなあ千葉や会の事務局に、本人や関係者からの問い合わせ、要望、苦情が増加している。中核機関の設置が進み、チームケアが推奨されている。補助や保佐のケースの増加、又、いわゆる支援困難ケース、課題が複合化しているケースの依頼が多くなってきた。

また、登録員の高齢化や病気、認知機能の低下、多数受任の課題、兼業での連絡体制の問題等がある。

定期報告等の提出期限が守れない登録員、必須研修に不参加の登録員が一定数いる。その都度、運営委員、委員長、副委員長を中心に、事実確認、個別面談等で助言、指導の対応を行った。

必須登録員の研修では、倫理綱領と行動規範、チームケアの研修を実施し、ご自身の後見活動の振り返りをしつつ、注意喚起、原点回帰の機会にも繋がった。

運営委員会、理事会では、名簿登録規程の改正、役員報酬（委員長、副委員長）の設立について、議論を繰り返し、2024年度からの改正、導入を目指している。

後見事務においては、活動報告書システムを導入し2年目となり、一定の評価はあるが、システムの課題もある。引き続き、事務局（ぱあとなあ担当の週5事務員の定着）や運営委員の業務負担軽減、登録員の効率化を踏まえて、体制整備、ICT化を推進していく。新年度からは、ぱあとなあ新ホームページ（マイページ）を活用し、受任状況確認、研修申し込み等をよりスムーズに行えるようにする。

2023年度の事業概況

登録員数、家裁からの後見人等推薦依頼件数、総受任件数は昨年より約52件増加、総受任件数は、185件増加している。運営委員会及び県社士会事務局の業務量（コーディネート、研修、業務管理業務及び付随する事務作業等）は、年間を通じて逼迫している状況。

年 度	登 録 員	家裁からの推薦依頼件数	総受任件数
2016	225	201	937
2019	263	426	1402
2020	302	416	1574
2021	320	522	1837
2022	324	468	1922
2023	341	520	2107

1. 運営委員会事業

第1回（2023年4月）～第8回（2024年3月）の運営委員会は、オンライン7回、参集1回の開催。主な議事・確認事項は以下の通り。

- ・2022年度事業報告、2023年度事業計画
- ・登録員の研修受講要件
- ・報酬助成審査会 報酬助成申請案件の可否審議
- ・活動報告システムの運用
- ・ぱあとなあニュース、未成年後見、独立型社会福祉士、渉外、会計
- ・家裁との協議、各自治体の中核機関
- ・登録員の相談、苦情について
- ・名簿登録規程、運営規程改正に協議 役員報酬について協議
- ・登録員の面談について

2. 研修事業

- ・「必須登録員研修」 登録員は必須の研修、年1回以上の研修参加が名簿登録の要件
→実施3回（ZOOM開催2回、参集開催1回） 延 354名（不参加38名）

- 1回目 2023年7月29日 倫理綱領と行動規範 リーガルサポート千葉 吉留亨氏 218名
 2回目 2023年10月22日 倫理綱領と行動規範 日本社会福祉士会 中田雅章氏 48名
 3回目 2024年1月27日 チームケア 流山中核機関 桃井氏 柏南部地域包括 宮原氏 88名

※ 38名不参加 ⇒不参加者は、レポート提出（14名）

2023年度から、欠席は原則認めず、やむを得ない場合は、理由を添える。

・「千葉サポート研修」→受任3年未満の方が対象、年間2回以上の研修参加が名簿登録の要件
 実施6回（ZOOM開催）延 282名 平均 約 47名

第1回	5月13日	初回報告	助川純子	43名
第2回	6月24日	身上保護	吉武美樹	46名
第3回	8月26日	居住用不動産	土井義昭	55名
第4回	10月28日	死後事務	高美修次	64名
第5回	11月25日	リスクマネジメント	秦野隆治	34名
第6回	2月24日	家裁、報酬助成	四ノ宮章	40名

・「レベルアップ研修」→実施2回（オンライン ZOOM 開催）

- 第1回 10月21日 障がい福祉サービスから介護保険 伊藤佳世子、堀江亜希子 31名
 第2回 12月2日 親なきあとの支援 泉幸江、安藤宏之、太田和美 33名

・「弁護士との事例検討会」→実施2回（ZOOM開催）

- 第1回 11月18日 中山真樹弁護士 27名
 第2回 2月17日 佐久間貴幸弁護士 19名

・「人材育成研修」→開催（参集開催） 36名（内、茨城県5名）

・「名簿登録研修」→開催（参集開催） 28名

・「支援者のための成年後見制度活用講座」（参集開催）→ 9月23日・24日 26名

3. コーディネート事業

2023年度（2023年4月1日～2023年3月31日）における家庭裁判所からの後見人等の推薦依頼件数は520件で、前年度の468件から約50件増加した。しかし、受任候補者を推薦出来ず、辞退した案件は71件で、前年度の19件を大きく上回った。

結果として、2022年度は、辞退案件と申立取下等のキャンセル案件2件を除いた、447件を登録員の皆さんが新たに受任。（前年度441件）。

コロナ禍以降、コーディネート作業は、クラウドシステムを活用し、10人の担当者がそれぞれの担当地区（家裁支部）の依頼案件に応じて、推薦候補者を選定し、順次候補者へ電話での案件説明、受任打診等を行なっている。コーディネーターの負担も大きく、原則として、任期は1年。

負担軽減のためのICT化等を更に進め、今後、より多くの登録員にコーディネーターを担っていただくことが不可欠である。今後、一定の後見人等の受任経験を有する登録員、過去にコーディネーターを経験者にお声がけさせていただくことがある。

また、2023年度の電話相談対応は、138件（一般58件、登録員80件）（前年度146件）。経験の浅い登録員の方は、是非、活用いただきたいと考えている。

表1 家裁支部別依頼件数（2023年4月～2024年3月末）

全体	本庁	松戸	市川	佐倉	木更津	佐原	八日市場	一宮	館山
520 (468)	141 (111)	130 (111)	111 (116)	56 (66)	25 (26)	17 (16)	17 (4)	13 (14)	10 (4)

※ 辞退71件（2023年度19件）、キャンセル2件（2023年度8件）。（ ）内は2022年度。

表2 依頼案件の類型（2023年4月～2024年3月末）

全体	後見	保佐	補助
520 (468)	377 [72%] (311 [66%])	102 [20%] (112 [24%])	41 [8%] (46 [9%])

※ （ ）内は2022年度。

4. 業務管理（活動報告書の読込、受任者面談）事業

登録員の皆さま、活動報告書(定期報告)を活動報告システムでの提出、部会員・協力員10名が、報告書の読込作業を行った。2023年度の活動報告書総数は、2107件（昨年比+168件）で、2024年3月～4月にかけて読込を実施。340名中14名の方を除き、期日（2月1日～2月28日）を守り、提出となった。

2023年度読込作業を通して、4月に10名の面談（内7名ケース相談等により面談希望）を予定。

2022年度は、13件、10名の個別面談を実施した。

活動報告システムでの報告時は、①3桁でのケース番号②家裁の事件番号③家裁への報告年月日④1-3の身上保護、財産管理、意思決定支援の取り組みの3項目別の記載⑤現在の活動件数の違い、この辺りの修正のための差し戻しがあった。システム側の問題や課題も多くあり、改善するよう日本会、システム管理会社へ要望を伝えていく。後見活動で、困っていること等、ばあとなあ千葉の電話相談・面談相談の活用を周知している。

～随時報告提出にあたっての留意点～

2024年1月～2月にかけて、随時報告提出が通常月（約30件程度）よりも3倍近い件数（約100件）が提出。その結果、定期報告の件数や内容の誤入力等、要修正事案が多数散見され、提出された登録員の皆様・事務局員・読込担当者各々に多大な事務負担が生じるに至った。

来年度以降、このような課題が生じないように、随時報告の提出時期（家裁への報告後速やかにばあとなあ千葉へ提出）及び留意点について今一度ご確認をお願いし、注意喚起をしている。

5. 報酬助成制度事業

被後見人等の方の預金が過少であることや、市町村の報酬助成を受けることができないことにより、後見報酬の確保が困難な案件に対して、ばあとなあ千葉から報酬を助成する制度。

- ・報酬助成金額の上限：1 案件について、1 年あたり 150,000 円（月額 12,500 円）。
- ・受任案件数においての受任会費の上限(1 件につき 2,000 円、上限 15 件 30,000 円)を廃止。

2024 年度からは、15 件以上(新規、低報酬案件除く)の受任の方は、受任会費 1 件 2000 円に上限なし。仮に受任 20 件では、受任会費は、40,000 円となる。

また、この受任会費は、報酬助成、それに伴う事務費以外のばあとなあの活動(コーディネートや業務管理等)でも、支出できる。今後、更なる事務員増員も検討中である。各市町村の成年後見制度利用支援事業(後見報酬助成制度)は、少しずつ見直しがされているが今後も必要なソーシャルアクションを行っていく。

申請件数

2022 年度申請 14 件申請

2023 年度申請 9 件申請

助成件数と助成額

2022 年度 7 件 780,000 円

(※2022 年 4 月～12 月分 尚、2023 年 1～3 月分は、2024 年度へ)

2023 年度 13 件 1,820,000 円

受任会費

受任会費は、2,340,000 円（受任 1 件×2,000 円）

[審査会実績及び申請件数]

2022 年度第 3 回	報酬助成審査会	2023 年 1 月 24 日	2022 年度申請分	6 件申請
2023 年度第 1 回	報酬助成審査会	2023 年 4 月 25 日	2022 年度申請分	2 件申請
			2023 年度申請分	4 件申請
2023 年度第 2 回	報酬助成審査会	2023 年 10 月 19 日	2023 年度申請分	1 件申請
2023 年度第 3 回	報酬助成審査会	2024 年 1 月 11 日	2023 年度申請分	2 件申請

※2024 年 2, 3 月 3 件の申請は、2024 年度第 1 回報酬助成審査会で審査。

[助成額 上記審査会期間分]

2023 年度 助成金額 1,820,000 円 13 件 (※2022 年度 助成金額 780,000 円 7 件)

内訳：2022 年度申請分 7 件 1,020,000 円

2023 年度申請分 6 件 800,000 円

2023 年度 助成金額 1,020,000 円+800,000 円=1,820,000 円

※2024 年度は、4 月、9 月、1 月と年間 3 回設定し、早期の支給に努める。

6. 渉外・ソーシャルアクション

- ・家事関係機関との連絡協議会（家裁主催） 2024年2月16日 古澤肇
 - ・地区別意見交換会（県社会福祉協議会主催）
白井正和、根本優子、遠坂貴志、堀越広喜、吉武美樹、梶原幸夫、石橋大輔、古澤肇
 - ・成年後見制度利用促進体制整備アドバイザー派遣（県社会福祉協議会主催）
9月15日 大網白里市、9月27日 一宮町、10月24日 白子町、
11月7日 睦沢町、長柄町、長南町、12月1日いすみ市、12月18日勝浦市、
1月15日茂原市、2月1日旭市 遠坂貴志 白井正和 古澤肇
 - ・成年後見制度利用促進体制整備のための圏域会議（県社協） 2月28日 古澤肇
 - ・千葉県成年後見支援センター関係機関連絡会議（県社協） 2月28日 古澤肇
 - ・佐倉市市民後見人養成講座 講師 古澤肇 4月22日、6月10日
 - ・佐倉市日常生活自立支援事業、法人後見研修 講師 白井正和 6月26日
 - ・柏市中核機関 勉強会 講師 四ノ宮、太田、古澤 10月5日
 - ・流山市専門職対象成年後見制度研修会 講師 古澤肇 10月16日
 - ・千葉市市民後見人養成講座 講師 秦野隆治 10月31日
 - ・市原市市民後見人養成講座 講師 古澤肇 11月18日
 - ・浦安市市民後見人フォローアップ講座 講師 古澤肇 1月20日
 - ・社労士成年後見支援センター 講師 秦野隆治 2月4日
 - ・船橋市権利擁護サポーター養成講座フォローアップ講座 講師 山本誠一 2月27日
 - ・柏市南部、南部第二地域包括支援センター 講師 工藤淑子、古澤肇 2月29日
 - ・山武市市民後見人フォローアップ講座 講師 秦野隆治、古澤肇 3月9日、10日
 - ・松戸市地域巡回講演会・相談会 講師 泉幸江、四ノ宮章、古澤肇 年10回
- ・県内各自治体における成年後見制度利用促進計画の策定、中核機関の設置等が進む中、ばあとなあ千葉として、引き続き積極的に関わり、委員やアドバイザー、講師を引き受けてきた。成年後見制度利用支援事業の整備・拡充を各自治体へ働きかけを継続していく。

7. 登録員に対する苦情対応

登録員の後見活動に関する関係者からの要望・相談・苦情等がここ数年増加。登録員の後見活動における問い合わせや要望、苦情が市町村、中核機関、サービス事業所、本人や家族から連絡が常時数件ある状況である。「登録員が関係者と連絡が取れる体制」「チームケア、方針のすり合わせ、役割分担」「上から目線にならない注意」「報告書の提出期限の厳守」等について、ばあとなあニュースや研修時に注意喚起を実施した。

新しい倫理綱領の考え方では、家族や関係者もクライアントの定義となっていることも再確認している。

当該登録員の活動改善のための個別面談、指導・助言を実施。今後は、ばあとなあ名簿登録規程の改正し、助言や指導に従えない場合が続く場合は、対応についても明示していく。

登録員には、本人、家族、関係機関との連絡調整、チームケアの中で、課題や問題が発生した際には、早めにばあとなあに連絡、相談するよう、又、登録員の高齢化や病気等による辞任の相談についても事前にばあとなあ千葉へ相談をするよう周知している。

8. その他

- 未成年後見の受任中の案件は、2件(昨年5件)。
- 法人後見の受任中の案件は1件。2024年度法人後見を辞任して個人後見等へ移行予定。
- リスクマネジメント部会及び独立型社会福祉士部会は、活動休止。

9. 登録員に対する相談・支援体制の強化

- 登録員に対する相談・支援については、電話相談、受任者面談の機会拡大、また、初心者同行支援、初任者初回報告相談の利用促進を図った。

10. 支部作りの準備

- 支部づくりを準備中。4年前からの課題、登録員増加、依頼件数増大、苦情対応、中核機関や市民後見等の協力等を踏まえ、ばあとなあ千葉の諸事業（コーディネート、研修、相談・支援・苦情対応）を担う支部体制（裁判所毎の地域別の支部）づくりの検討を進めていく。

(5) 司法福祉委員会

2023年度も日本社会福祉士会認定機構の認定研修、刑事司法ソーシャルワーカー実務研修（基礎編・応用編）をオンライン Zoom と千葉県弁護士会館でのハイブリッド研修で実施した。この講座は、千葉県弁護士会と千葉県社会福祉士会の共催となっている。千葉県社会福祉士会会員は、この講座を修了すると司法福祉委員会のメンバーリストに登録することができる。千葉県社会福祉士会が千葉県弁護士（主に国選弁護人）から支援依頼を受けると、司法福祉委員会の刑事司法ソーシャルワーカー登録委員の中からマッチング支援により受任する。受任した司法福祉委員は弁護士と協同し被疑者（障害者・高齢者）の入口支援に関わり支援していく。このマッチング支援事業を充実させるために、学習会を設け受任経験者から支援計画書作成の実践研修と関連する専門講師の講義を受け研鑽を積んでいる。

① 運営委員会の開催

第1回司法福祉委員会

開催日：2023年6月17日(土)10:00~12:00

開催場所：千葉県社会福祉センター3階小会議室2

参加者：10名（宮下、青沼、大浦、吉田、松丸、宮崎、野村、山本、寺崎、小川）

内容：2023年度のスタートにあたり各担当より計画と意見を述べあう。

第2回司法福祉委員会

開催日：2023年9月16日(土)10:00~12:00

開催場所：オンライン Zoom

参加者：9名（宮下、青沼、大浦、吉田、宮崎、野村、寺崎、服部、小川）

内容：認定研修・基礎編の反省と応用編の役員確認、学習会委員から報告。

第3回司法福祉委員会

開催日：2023年12月16日(土)10:00~12:00

開催場所：オンライン Zoom

参加者：8名（宮下、青沼、大浦、松丸、野村、寺崎、服部、山本）

内容：認定研修の反省と学習会委員から結果報告。

第4回司法福祉委員会

開催日：2024年3月13日（土）10：00～12：00

開催場所：オンライン Zoom

参加者：8名（宮下、大浦、吉田、松丸、野村、寺崎、山本、小川）

内容：新年度の委員会、学習会開催日程と新委員長の挨拶。

② 研修

日本社会福祉士会認定研修開催

開催場所：千葉県弁護士会館とオンライン Zoom によるハイブリッド研修

基礎編：令和5年7月22日、23日

受講者：47名

応用編：令和5年10月7日、8日

受講者：35名

③ マッチング支援

2023年度の受任件数は3件

④ 学習会

第1回学習会

開催日：2023年9月10日（土）（10：00～11：40）

開催場所：オンライン Zoom

参加者：10名

内容：更生支援計画書の作成（実践事例より）

講師：寺崎丈春

第2回学習会

開催日：2023年10月21日（土）10：00～12：00

開催場所：オンライン Zoom

参加者：21名

内容：藤原正範氏（日本福祉大学ソーシャルインクルージョン研究センター）
『非行少年の自立支援に向けて社会福祉士が出来ること』

（6） 災害対策委員会

○令和5年度災害対策委員会執行体制（理事改選に伴う委員長等の異動）

	令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度
委員長	服部明	服部明	安藤宏之	安藤宏之
副委員長	伊藤佳世子	伊藤佳世子	服部明	服部明

○災害対策委員会の開催

・第1回：令和5年5月27日（土）午後1時30分～3時30分 参加者5名（オンライン）

・第2回：令和5年10月22日（日）午後1時30分～3時30分 参加者5名（オンライン）

○大規模災害発生時の被災地支援活動

(1) 令和5年台風13号接近に伴う被災地支援活動

- ・第1回災害支援本部会議：9月10日(日)午後7時～9時 参加者6名
- ・第2回災害支援本部会議：9月18日(月)午後7時～9時 参加者5名
- ・主な活動：会HPへの会長声明掲出、災害VC一般ボランティア活動参加の呼掛けなど
- ・被災地支援活動協力者に対する補助金支出：1件(5,000円 茂原市)

(2) 令和6年能登半島地震に伴う被災地支援活動

- ・第1回災害支援本部会議：1月8日(月)午後7時～8時 参加者12名(オンライン)
- ・第2回災害支援本部会議：1月25日(木)書面開催(回答入力用フォームをメール送信)
- ・第3回災害支援本部会議：2月18日(木)書面開催(回答入力用フォームをメール送信)
- ・主な活動：会HPへの会長声明掲出、災害VC一般ボランティア活動参加の呼掛けなど
- ・被災地支援活動協力者に対する補助金支出：0件(令和6年3月31日現在)

○被災地支援活動協力員名簿の登録者数

53名(令和6年3月31日時点。直近の登録名簿更新：令和5年10月)

○第44回九都県市合同防災訓練(千葉県会場)

- 日時：令和5年9月2日(日)午前10時～12時
- 出席者：服部災害対策委員長
- 場所：我孫子市川村学園女子大学
- 参加：災害ボランティアセンター運営訓練に運営スタッフとして参加

○神奈川県社会福祉士会『2023年度災害支援活動者養成研修』における活動報告

- 日時：令和6年2月11日(日)午後1時～3時
- 報告者：服部災害対策委員長
- 内容：2019年台風15号による災害に際して他県社会福祉士会から支援を受けた経験
※ 報告に使用した資料は事務局で保管

○日本社会福祉士会 都道府県社会福祉士会災害担当者会議(オンライン)

- 日時：令和6年2月25日(日)午前10時～12時
- 出席者：服部災害対策委員長
- 内容：『災害福祉支援ネットワーク中央センター』事業実施状況と社会福祉士会への期待
・県士会からの報告(福島県社会福祉士会、宮崎県社会福祉士会)、意見交換

○日本社会福祉士会 関東甲信越ブロック社会福祉士会災害連携会議(オンライン)

- 第1回：令和5年12月19日(火)午後7時～8時30分
- 出席者：服部災害対策委員長、星野災害対策委員、都筑災害対策委員
- 内容：各県士会からの報告、意見交換

- 第2回：令和6年3月25日(月)午前11時～12時

出席者 : 事務局職員

内容 : 日本社会福祉士会岡本副会長（災害対策担当）からの令和6年能登半島地震被災地支援活動の現状と今後の展開予定の説明

○コミュニケーションメディア『災・コ・メ』の発行と配布

目的 : 災害対策委員会と被災地支援活動協力員間のコミュニケーションを強化する

媒体 : A4サイズ2枚のPDFファイル

配布 : 被災地支援活動協力員メーリングリストにてメール添付送信

実績 : 4回発行（4月、7月、10月、2024年1月）

○千葉県災害ボランティアセンター連絡会 定例会 第2回

日時 : 令和5年8月17日(木) 午後2時～4時

出席者 : 服部災害対策委員長

内容 : 九都県市合同防災訓練実施計画の確認など

○千葉県災害ボランティアセンター連絡会 運営スタッフ研修（オンライン）

日時 : 令和6年3月6日(水)午後2時～午後4時

出席者 : 服部災害対策委員長

内容 : 令和5年台風第13号災害支援活動報告など

○新規事業 FACEBOOK グループ『災害ソーシャルワーカー交流空間』の開設と情報発信

目的 : 本会会員間の即時・双方向のコミュニケーションツールの創出

運用 : 令和6年2月25日運用開始

参加者 : 23人（令和6年3月31日現在）

実績 : 被災地支援活動に関する報道の転載、被災地派遣者の活動コメントの投稿など

(7) 倫理委員会

会員による倫理綱領違反等が疑われる事案が発生した場合、苦情手続規則に基づき倫理委員会が審査を行い、本会に所属する社会福祉士の倫理及び資質の向上に努めていく。

2023年9月26日（火）18：20～19：40 倫理委員会を開催した。

(8) 松戸市居住の安定確保支援事業業務委託

常勤の居宅移行支援員1名と非常勤の居宅移行支援員1名を事業課である松戸市役所生活支援課内に配置し、市内だけでなく市外の無料低額宿泊所等に入所している生活保護受給者等に対して積極的に支援を進めてきた。

業務の内容は、無料低額宿泊所に入所している生活保護受給者に対して適切な居宅等が提供されるように支援し、また地域で安定した生活を送り定着できるように自立を促すことにある。事業担当課である生活支援課や市内外の無料低額宿泊所や関連機関との連携により、8名が居宅等への移行を完了した。8名の移行者のうち、市内の無料低額宿泊所からは6名、残りの2名は市外の無

料低額宿泊所からである。

8名の移行先の内訳はアパート6名 介護施設1名 養護老人ホーム1名であった。

2023年度の支援対象者は46名、内新規対象者14名、支援終了者23名（転居や施設入所後、継続支援をした後に課題終了となり支援終了）となった。尚、松戸市独自の転居への条件として、犯罪歴、市役所への返還金、失踪歴（無料低額宿泊所やアパートから）などのある人たちも支援対象者から外される傾向にて2023年度の新規者が14名と例年（2016年度～2022年度は23名～39名）に比べ大幅に少なくなった。

これからは、無料低額宿泊所から入院となった場合には病院から介護施設へ移行となることが多く、そうすると退院まで限られた期間で入所施設を速やかに探さないといけない為、病院や介護施設との緊密な連携や理解が急務となる。

会として、現事業の役割、あり方、連携について検討を行い、来年度、この事業の継続も含め、松戸市と協議を進めていく方向である。

※委託期間：自2023年4月1日 至2024年3月31日 委託金額： 12,705,952円

2022年度当期一般正味財産増減額（収支計算書）

2023年4月1日～2024年3月31日

（単位：円）

科目		R5予算収入 (補正後)	R5予算支出 (補正後)	R5 決算額収入	R5 決算額支出	収入-支出 (決算)	予算収入- 決算収入	予算支出- 決算支出	備考		
大項目	中項目	小項目	(収入)	(支出)	(収入)	(支出)	(収入)	(支出)			
1	会費		27,835,000	8,867,500	27,920,000	8,583,550	19,336,450	△ 85,000	283,950		
	1	会費	24,359,000	8,067,500	24,449,000	8,112,500	16,336,500	△ 90,000	△ 45,000		
		1	正会員	24,345,000	8,067,500	24,435,000	8,112,500	16,322,500	△ 90,000	△ 45,000	1,635名(2024年3月31日現在、新入会 103名-内、キャンペーン10名)、連 合体会費1,627名×5,000円
		2	準会員	2,000	0	2,000	0	2,000	0	0	2,000円×1名
		3	賛助会員	12,000	0	12,000	0	12,000	0	0	10,000円×1社、2,000円×1名
		4	負担金	0	0	0	0	0	0	0	
		5	入会金	0	0	0	0	0	0	0	正会員会費に繰り入れ
	2	ばあとなあ登録料	3,476,000	800,000	3,471,000	471,050	2,999,950	5,000	328,950		
		1	ばあとなあ名簿登録料	3,405,000	800,000	3,395,000	471,050	2,923,950	10,000	328,950	名簿登録員343名(1月～含む)
		2	ばあとなあ準会員登録料	71,000	0	76,000	0	76,000	△ 5,000	0	延べ76名×1,000
2	事業費		29,755,974	28,227,700	30,550,368	28,271,466	2,278,902	△ 794,394	△ 43,766		
	1	総務事業	70,000	1,297,241	118,000	1,252,909	△ 1,134,909	△ 48,000	44,332		
		1	企画部会運営費	0	22,500	0	7,500	△ 7,500	0	15,000	
		2	SW3団体及びその他職能団体 との協働事業費	0	47,668	0	47,690	△ 47,690	0	△ 22	
		3	福祉職地域交流促進事業費	2,000	300,000	2,000	292,424	△ 290,424	0	7,576	地域集会講師料補助、会場費補助
		6	広報誌作成費	68,000	851,073	116,000	844,461	△ 728,461	△ 48,000	6,612	広報誌年3回発行、広報誌同封チラシ 収入
		8	広報部会運営費	0	76,000	0	60,834	△ 60,834	0	15,166	
		9	WEB維持管理費	0	0	0	0	0	0	0	ICT推進委員会へ(ホームページの 維持経費)
	2	総合相談事業	1,384,000	499,000	1,434,294	480,712	953,582	△ 50,294	18,288		
		1	総合相談委員会運営費	0	0	0	0	0	0	0	
		2	高齢者虐待防止対策研修会 (県事業)	1,364,000	459,000	1,386,550	437,068	949,482	△ 22,550	21,932	千葉県委託事業
		3	高齢者虐待対応専門チーム	20,000	40,000	47,744	43,644	4,100	△ 27,744	△ 3,644	千葉県委託事業
		6	千葉県高齢者虐待対応マ ニュアル改訂事業	0	0	0	0	0	0	0	
		7	総合相談業務を担う社会 福祉士の集い	0	0	0	0	0	0	0	
	3	研修事業	6,741,400	3,678,064	7,340,900	4,301,910	3,038,990	△ 599,500	△ 623,846		
		1	研修委員会運営費	0	150,000	0	147,665	△ 147,665	0	2,335	
		2	県民公開講座(研究大会・総 会)	0	0	0	0	0	0	0	
		3	基礎研修Ⅰ	300,000	250,000	300,000	242,872	57,128	0	7,128	2023年度研修受講者59名
		4	基礎研修Ⅱ	1,851,000	830,000	1,851,000	875,484	975,516	0	△ 45,484	2023年度研修受講者37名
		5	基礎研修Ⅲ	2,088,000	750,000	2,088,000	789,424	1,298,576	0	△ 39,424	2023年度研修受講者43名
		6	ジェイシー教育研究所web模 試 問題作成	851,400	749,453	1,450,900	1,266,958	183,942	△ 599,500	△ 517,505	
		7	社会福祉士取得支援講座(和 洋女子大学)	700,000	348,865	700,000	349,125	350,875	0	△ 260	
		8	実習指導者講習会	491,000	308,033	491,000	308,361	182,639	0	△ 328	2023年度受講者36名
		10	淑徳大学講師派遣	460,000	291,713	460,000	322,021	137,979	0	△ 30,308	
		12	社会福祉士ワンアップ研修 (基礎研修終了者)	0	0	0	0	0	0	0	
		14	グループワーク研修	0	0	0	0	0	0	0	
		16	先輩SWへの学び研修	0	0	0	0	0	0	0	
	4	ばあとなあ千葉運営事業	6,013,000	7,838,297	6,044,000	7,421,082	△ 1,377,082	△ 31,000	417,215		
		1	ばあとなあ委員会運営費	0	850,000	0	759,872	△ 759,872	0	90,128	
		3	相談事業	0	405,000	0	414,958	△ 414,958	0	△ 9,958	電話相談、訪問相談
		4	成年後見制度活用講座	256,000	235,000	256,000	234,890	21,110	0	110	
		5	成年後見人育成研修(委託 研修)	1,800,000	800,000	1,800,000	799,432	1,000,568	0	568	
		6	法人後見事業	247,000	230,000	247,000	224,584	22,416	0	5,416	法人後見1件
		7	活動報告書読み込み作業	0	740,000	0	554,889	△ 554,889	0	185,111	
		9	渉外・ソーシャルアクション	0	80,000	0	88,270	△ 88,270	0	△ 8,270	リーフレット、規程変更、家裁、他団 体、市町村へ
		10	受任者面接	0	195,500	0	0	0	0	195,500	
		11	ばあとなあ千葉ニュース	0	223,600	0	223,081	△ 223,081	0	519	年4回発行
		12	コーディネイト会議	0	947,000	0	898,760	△ 898,760	0	48,240	
		13	名簿登録研修	140,000	217,563	140,000	217,563	△ 77,563	0	0	2023年度受講者28名
		14	必須登録員研修	374,000	290,000	394,000	358,732	35,268	△ 20,000	△ 68,732	2023年度受講者のべ354名
		15	千葉サポート	282,000	120,000	283,000	127,280	155,720	△ 1,000	△ 7,280	2023年度受講者のべ281名
		16	レベルアップ研修	96,000	113,634	96,000	113,634	△ 17,634	0	0	2023年度受講者のべ64名
		17	家裁事務報告書指導	0	0	0	0	0	0	0	
		18	テーマ別弁護士との事例検討 会	69,000	107,000	69,000	79,514	△ 10,514	0	27,486	2023年度受講者のべ46名
		19	独立型社会福祉士部会準備会	21,000	30,000	21,000	18,260	2,740	0	11,740	

科目			R5予算収入 (補正後)	R5予算支出 (補正後)	R5 決算額収入	R5 決算額支出	収入-支出 (決算)	予算収入- 決算収入	予算支出- 決算支出	備考
大項目	中項目	小項目	(収入)	(支出)	(収入)	(支出)		(収入)	(支出)	
	20	関東甲信越ブロック連絡会	0	0	0	0	0	0	0	
	21	ばあとなあ千葉全体会	0	35,000	0	36,820	△ 36,820	0	△ 1,820	
	22	個人情報保護 相談委託業務	0	0	0	0	0	0	0	
	24	未成年後見	8,000	60,000	8,000	62,885	△ 54,885	0	△ 2,885	
	25	研修部会運営	0	0	0	0	0	0	0	運営委員会へ集約
	26	報酬助成事業(受任会費含む)	2,720,000	1,960,000	2,730,000	1,979,778	750,222	△ 10,000	△ 19,778	報酬助成13件
	27	支部設立準備事業	0	0	0	0	0	0	0	
	28	ICT推進	0	199,000	0	227,880	△ 227,880	0	△ 28,880	
5		司法福祉	1,424,600	665,969	1,424,600	609,241	815,359	0	56,728	
	1	司法福祉委員会運営費	0	100,000	0	52,149	△ 52,149	0	47,851	
	2	司法福祉学習会	42,000	27,969	42,000	28,053	13,947	0	△ 84	
	3	刑事司法SW養成講座(基礎)	851,200	350,000	851,200	351,645	499,555	0	△ 1,645	2023年度受講者 48名
	4	刑事司法SW養成講座(応用編)	531,400	188,000	531,400	177,394	354,006	0	10,606	2023年度受講者 35名
	5	マッチング支援	0	0	0	0	0	0	0	
6		災害対策	0	135,000	0	137,259	△ 137,259	0	△ 2,259	
	1	千葉県社会福祉士会災害対策委員会	0	135,000	0	137,259	△ 137,259	0	△ 2,259	災害対策他団体会議、交通費等
	2	災害対策研修	0	0	0	0	0	0	0	
7		その他	14,122,974	14,114,129	14,188,574	14,068,353	120,221	△ 65,600	45,776	
	1	千葉県社会福祉士会倫理委員会	0	140,000	0	82,004	△ 82,004	0	57,996	
	2	社会福祉士ささえあい制度配分委員会	0	0	0	0	0	0	0	使用しない
	3	選挙管理委員会	0	77,000	0	73,380	△ 73,380	0	3,620	
	4	法人後見監直業務委員会	0	0	0	0	0	0	0	
	5	居住確保支援事業	12,996,352	11,922,274	12,705,952	11,550,866	1,155,086	290,400	371,408	
	7	社会福祉士会活性化事業	852,622	684,855	1,106,622	787,497	319,125	△ 254,000	△ 102,642	孤独孤立相談ダイヤル、意思決定支援研修
	8	講師派遣事業	274,000	250,000	376,000	331,990	44,010	△ 102,000	△ 81,990	講師派遣
	9	ICT推進委員会	0	1,040,000	0	1,242,616	△ 1,242,616	0	△ 202,616	ホームページの維持経費、アプリ他使用料
3		事務費	0	22,645,774	0	21,840,551	△ 21,840,551	0	805,223	
	1	消耗品費	0	860,000	0	931,872	△ 931,872	0	△ 71,872	会員管理用事務消耗品代、研修費出用PC代、転居時消耗品代
	2	印刷製本費	0	880,000	0	885,508	△ 885,508	0	△ 5,508	総会資料、封筒、コピー機カウンター
	3	通信運搬費	0	1,000,000	0	832,476	△ 832,476	0	167,524	電話使用料、切手代郵送料等、
	4	慶弔費	0	0	0	0	0	0	0	
	5	賃金等	0	11,238,683	0	11,174,729	△ 11,174,729	0	63,954	常勤2名→3名、パート1名(通勤費含)
	6	法定福利費	0	1,900,000	0	1,846,627	△ 1,846,627	0	53,373	賃金等より(社保・労働保険料)
	7	水道光熱費	0	190,000	0	214,848	△ 214,848	0	△ 24,848	
	8	賃借料	0	1,100,000	0	1,017,008	△ 1,017,008	0	82,992	事務局賃料、コピー機等リース(保守料含む)、PCリース
	9	委託料	0	3,650,000	0	3,542,529	△ 3,542,529	0	107,471	税理士、新入会セット(日本会)1,000円×84名
	10	役員報酬	0	987,500	0	652,700	△ 652,700	0	334,800	理事会、総会、三役会、外部会議出席
	11	役員旅費	0	200,000	0	249,086	△ 249,086	0	△ 49,086	
	12	役員選挙事務費	0	240,000	0	137,004	△ 137,004	0	102,996	
	13	保険料	0	40,000	0	40,900	△ 40,900	0	△ 900	
	14	会議費	0	73,300	0	86,370	△ 86,370	0	△ 13,070	
	15	諸会費	0	50,000	0	50,000	△ 50,000	0	0	
	16	雑費	0	236,291	0	178,894	△ 178,894	0	57,397	
4		受取補助金等	0	0	0	0	0	0	0	
5		寄付金	0	0	0	100,000	△ 100,000	0	△ 100,000	日本会へ災害活動支援金
6		繰越金	2,750,000	0	0	0	0	2,750,000	0	
7		雑収入	100,000	0	94,069	0	94,069	5,931	0	PSW、MSW事務手数料
8		租税公課	0	700,000	0	760,800	△ 760,800	0	△ 60,800	
9		敷金支出	0	0	0	0	0	0	0	
10		予備費	0	0	0	0	0	0	0	
11		配分金	0	0	0	0	0	0	0	
		合計	60,440,974	60,440,974	58,564,437	59,556,367	△ 991,930	1,876,537	884,607	
		当期一般正味財産増減額		0		△ 991,930			991,930	

貸借対照表

令和6年3月31日現在

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	56,814,887	56,967,259	△ 152,372
未収入金	4,195,623	3,924,135	271,488
貯蔵品	111,377	32,292	79,085
前払費用	0	77,616	△ 77,616
預け金	138,655	142,175	△ 3,520
仮払金	0	0	0
流動資産合計	61,260,542	61,143,477	117,065
2. 固定資産			
(1) 固定資産			
器具及び備品	64,124	101,188	△ 37,064
敷金	0	920,700	△ 920,700
固定資産合計	64,124	1,021,888	△ 957,764
3. 基本財産			
定期預金	2,000,000	2,000,000	0
基本財産合計	2,000,000	2,000,000	0
資産合計	63,324,666	64,165,365	△ 840,699
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	2,472,746	2,384,428	88,318
預り金	336,392	273,479	62,913
仮受金	0	0	0
流動負債合計	2,809,138	2,657,907	151,231
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	2,809,138	2,657,907	151,231
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄付金	2,000,000	2,000,000	0
指定正味財産合計	2,000,000	2,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	(2,000,000)	(2,000,000)	0
2. 一般正味財産	58,515,528	59,507,458	△ 991,930
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
正味財産合計	60,515,528	61,507,458	△ 991,930
負債及び正味財産合計	63,324,666	64,165,365	△ 840,699

正味財産増減計算書

自 令和5年4月1日 至 令和6年3月31日

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
①会費収入	27,179,000	26,001,500	1,177,500
②ぱあとなあ名簿登録料	3,471,000	3,307,000	164,000
③事業収入	27,820,368	27,907,544	△ 87,176
④受取補助金	0	36,000	△ 36,000
⑤寄付金	0	0	0
⑥雑収入	94,069	99,658	△ 5,589
経常収益計	58,564,437	57,351,702	1,212,735
(2) 経常費用			
①会費支出	8,583,550	8,428,940	154,610
②事業費	27,028,850	24,770,518	2,258,332
③管理費	23,183,167	19,869,447	3,313,720
経常費用計	58,795,567	53,068,905	5,726,662
当期経常増減額	△ 231,130	4,282,797	△ 4,513,927
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
①法人税等	760,800	608,400	152,400
②配分金	0	0	0
経常外費用計	760,800	608,400	152,400
当期経常外増減額	△ 760,800	△ 608,400	△ 152,400
当期一般正味財産増減額	△ 991,930	3,674,397	△ 4,666,327
一般正味財産期首残高	59,507,458	55,833,061	3,674,397
一般正味財産期末残高	58,515,528	59,507,458	△ 991,930
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	2,000,000	2,000,000	0
指定正味財産期末残高	2,000,000	2,000,000	0
III 正味財産期末残高	60,515,528	61,507,458	△ 991,930

現金預金明細表

令和6年3月31日現在

(単位:円)

取引金融機関	種 類	金 額	備 考
千葉銀行 千葉市役所出張所	普通預金 No. 3056203	13,438,794	
千葉銀行 千葉市役所出張所	普通預金 No. 3067795	11,930,247	居住確保支援事業
ゆうちょ銀行	普通預金 No. 10520-90294141	8,182,855	
ゆうちょ銀行	振替口座 No. 00170-0-713799	10,965,376	
ゆうちょ銀行	振替口座 No. 00170-6-569895	0	ささえあい制度用
千葉銀行 千葉市役所出張所	普通預金 No. 3073671	5,382,065	ぱあとなあ受任会費用
千葉銀行 千葉市役所出張所	定期預金 No. 3056190(2)	6,750,157	基本財産を除く
現金		165,393	
合 計		56,814,887	

未収入金明細表

令和6年3月31日現在

(単位:円)

相手先名	金 額	摘 要
千葉 県	1,688,294	高齢者虐待対応研修委託料ほか
松戸市	1,058,829	居住確保支援事業
ジェイシー教育研究所	599,500	国試回答解説ほか
ぱあとなあ千葉名簿登録員	849,000	ぱあとなあ2023年度WEB研修受講料ほか (必須登録員、レベルUP、千葉サポート、事例検討会)各研修
合 計	4,195,623	

貯蔵品明細表

令和6年3月31日現在

(単位:円)

相手先名	金 額	摘 要
切手代他	111,377	
合 計	111,377	

預け金明細表

令和6年3月31日現在

(単位:円)

相手先名	金 額	摘 要
千葉県	138,655	高齢者虐待対応研修契約保証金
合 計	138,655	

基本財産明細表

令和6年3月31日現在

(単位:円)

取引金融機関	種 類	金 額	備 考
千葉銀行 千葉市役所出張所	定期預金 No. 3056190(1)	2,000,000	基本財産
合 計		2,000,000	

未払金明細表
令和6年3月31日現在

(単位:円)

相手先名	金額	摘要
職員	1,509,942	3月分給与ほか
年金事務所	424,418	社会保険料
社会福祉センター	126,068	事務室水道光熱費等
テンプスタッフ	278,834	人材派遣料
ニッポンレンタカー	56,100	レンタカー代
高齢者虐待研修ほか	77,384	講師謝金等
合計	2,472,746	

預り金明細表
令和6年3月31日現在

(単位:円)

相手先名	金額	摘要
職員・講師他	336,392	源泉所得税
合計	336,392	

雑収入明細表

自 2023年4月1日 至 2024年3月31日

(単位:円)

相手先名	金額	摘要
受取利息	546	
事務受託費等	93,523	一般社団法人 千葉県医療ソーシャルワーカー協会 一般社団法人 千葉県精神保健福祉士協会ほか
合計	94,069	

事業収入明細表
令和6年3月31日現在

(単位:円)

相手先名	金額	摘要
千葉県	1,688,294	高齢者虐待防止対策研修ほか
和洋女子大学	700,000	社会福祉士取得支援
淑徳大学	460,000	社会福祉士取得支援
ジェイシー教育研究所	1,450,900	社会福祉士養成事業
松戸市	12,705,952	居住確保支援事業
合計	17,005,146	

監査報告書

令和6年5月12日

一般社団法人千葉県社会福祉士会
会長 樽林 元樹 様

監事 市原 久夫



監事 岡本 武志



私ども監事は、令和5年4月1日から令和6年3月31日までの令和5年度における監査を行い、次の通り報告する。

1. 監査の方法と概要

- (1) 会計監査のため、帳簿、書類を閲覧し、計算書類について慎重に検討を加え、必要と思われる実査、立会、照合、理事からの報告聴取その他の合理的方法を用いて調査した。監査当日の立会は会長、事務局長、事務局員が行った。
- (2) 会計以外の業務遂行を監査するため、理事会その他の重要会議に出席し、理事からの事業報告を聴取し、決裁書類を閲覧し、その他必要と思われる方法を用いて調査した。

2. 各会計及び財産の確認

- (1) 一般会計の預金の年度末残高は、千葉銀行、ゆうちょ銀行の預金通帳をもってそれぞれ確認した。
- (2) 諸帳簿及び証拠書類は、適正に保管されていることを確認した。

3. 監査意見

- (1) 貸借対照表及び財産目録、収入支出計算書は会計帳簿の記載と合致し法令及び定款ならびに諸規程に従って会の財産及び収支状況を正しく示していると認める。
- (2) 理事の職務遂行に関する不正の行為または法令、定款及び規約に違反する事実は認められない。

役員候補者名簿

議案第 2 号 役員を選任について

役員任期満了にあたり、以下の候補者名簿のとおり役員を選任することについて、総会の承認を求めます。

No.	役職	候補者氏名	備考
1	理事	服部 明	会員理事：四期目
2	理事	古澤 肇	会員理事：四期目
3	理事	及川 哲	会員理事：三期目
4	理事	秦野 隆治	会員理事：三期目
5	理事	白井 正和	会員理事：二期目
6	理事	浅見 雅人	会員理事：二期目
7	理事	松本 友寿	会員理事：二期目
8	理事	石橋 大輔	会員理事：二期目
9	理事	伊藤 佳世子	会員理事：二期目
10	理事	塩原 貴子	会員理事：一期目
11	理事	寺崎 丈春	会員理事：一期目
12	理事	野村 充津子	会員理事：一期目
13	理事	大森 匠	会員理事：一期目
14	理事	澁澤 茂	会員理事：一期目
15	理事	堀江 亜希子	会員理事：一期目
16	理事	菅野 道生	会員外理事：二期目（日本ソーシャルワーク教育学校連盟推薦）
17	理事	片山 純	会員外理事：三期目（千葉県精神保健福祉士協会推薦）
18	理事	水野 智行	会員外理事：二期目（千葉県医療ソーシャルワーカー協会推薦）
19	理事	吉留 亨	会員外理事：二期目（成年後見センター・リーガルサポート千葉県支部推薦）
20	理事	中村 恒平	会員外理事：二期目（千葉県弁護士会推薦）
21	監事	岡本 武志	会員監事：二期目
22	監事	谷口 さなえ	会員監事：一期目

<補足説明>

役員を選任決議については、関係法令に適合するため候補者一名ずつ議決する必要があります。
 なお、役員任期は 2026年度(R8)の定時総会(6月総会)終結の時までとなります。



一般社団法人 千葉県社会福祉士会

2024 年度事業計画および予算

※2019 年度より、事業計画および予算については、理事会承認となりました。

2022 年度第 8 回理事会（2023 年 3 月 12 日（開催）で承認された、2023 年の事業計画および予算について、報告いたします。

(1) 基本活動方針

地域共生社会の実現に向けて、社会福祉の援助を必要とする方への生活と権利を擁護し、社会福祉に関する知識及び技術の普及・啓発を行うとともに、社会福祉事業に携わる専門職員に対する倫理の確保、技能の研鑽を行うことにより地域福祉サービスの推進と発展を図り、もって千葉県における社会福祉の増進に寄与していきます。

2021年度に、「事業と予算のあり方検討委員会」を立ちあげ、会の事業と予算のあり方について理事会に報告しました。その後理事を中心に経営戦略会議を開催し、具体的な財政基盤の強化と組織率の向上に向けて検討、2023年度は、委員会組織の見直し、ソーシャルワーカー活動圏域と連動するための地域再編、そのための事務局の役割について議論を重ねてきました。今後は、議論の場を持つことから、具体的な作業を進めることに力点を移行し、三役会中心に、会員活動を後押しできる事務局機能強化の体制整備を進めていきます。また、会員相互の交流の機会として開催した談話室は、参加者が限られるようになってきたことから廃止し、地域集会の弾力的な運営による会員交流の場の拡充と広報誌と連動した会員への情報共有、県内各地での集いの開催へと方法の見直しを進めていきます。

前年度に引き続き30歳以下を対象として、入会金及び年会費を入会年度無料として、若年層の入会促進を進めます。また多くの会員が本会の活動に参加しやすい環境改善に取り組みます。

本会は発足以来、日常生活や介護のことなど、生活の困りごとが起きたときに「福祉の道案内役」として県民の皆様役に役立ててもらえるよう、活動しています。また、内閣府の実施する孤独孤立電話相談事業の継続的な協力や千葉県、各市町村からの受託事業の検討に取り組みます。

権利擁護の支援として、成年後見制度の利用促進、各種相談対応、司法福祉、スクールソーシャルワーカー、子ども、若者分野に関する対応を行います。また、会員の活動参加の推奨、WEB等での研修、ICTの活用等、時世に応じた活動、仕組みづくりに取り組みます。

司法や医療、教育等の他分野との協働を継続しながら、会員内外の方の思いやニーズを取り入れた活動を展開し、より魅力的な会になるよう努めます。

(2) 2024年度重点事業内容

- I. ソーシャルワークの実践力・指導力を高め、取り組んでいく。
- II. 会員一人ひとりがメリットを感じられる魅力ある会の運営の検討を継続する。
次世代を担う会員が会運営に参画するとともに横のつながりを強めていく。
- III. ICT活用による情報の管理・発信の効率化を進め、事務局体制の再構築と事務局と委員会活動の事務分担を整理する。
- IV. 大規模災害に対応するための体制整備をさらに進めるとともに、令和6年能登半島地震に対してもニーズに応じた被災地支援活動を実施する。
- V. 司法、教育、医療、行政、地域活動等の他分野と協働での活動を進める。
- VI. 研修はeラーニングを活用し会員の知識及び技術並びに倫理及び資質向上に資するよう活動を進める。
- VII. 成年後見制度の適正な利用をはじめ権利擁護支援活動について会として関与する。
- VIII. 会員相互の更なるつながりと本会の活性化・発展を図る為の情報や機会を積極的に提供できるよう委員会・地区の再編を行う。

(3) 各委員会・部会

(1) 総務委員会
活動方針
<p>【委員会の活動目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会員同士がゼネラルにつながる活動 ・他の職能団体との協働による組織強化 <p>【これまでの実績と今後の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世話人以外の会員による地域集会を柔軟に認めることにより地域集会の再開が進んだ。司法専門職、他 SW 団体、相談支援機関等と共催して複数地域をまたぐ地域集会の開催が増え、2023 年度は全 14 地区中 11 地区で延べ 30 回の開催が見込まれている。 ・談話室実施によりつながった新入会員を各地域で実施される地域集会につなぐことで新入会員との交流機会を広げた。総合相談委員会と共催した出張談話室で交流の場を県内の他地域に広げることができた。 ・会報誌「点と線」を年 3 回発行。会員内外にソーシャルワーカーの動き、信念などを寄稿いただく、もしくは取材を行い記事を作成してきた。 <p>【次年度重点的に取り組むこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他団体との協働による地域集会の活性化 ・新入会員との活動機会の提供 ・子どもを取り巻くソーシャルワークの記事の帯記事 ・社会福祉士の活動の魅力の周知・啓発 ・幅広い横の繋がりが出来るような集まりや研修会、交流会を実施して、気軽に社会福祉士が話しやすい、集まりやすい場を構築していく。
企画部会活動予定
<p>① 企画部会運営費（事業予算：22,500 円）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・臨時及び定例会議 年間 3 回 ・必要に応じて世話人会を同時開催 年間 1 回 <p>② 他団体との協働事業（事業予算：32,668 円）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ソーシャルワーカー三団体協働事業：会議と研修会実施 ・福祉と司法の千葉県連絡協議会：通年の会議と研修会、交流会実施 ・スクールソーシャルワーク関連：求人協力、ネットワーク化、研修実施（要見直し） <p>③ 福祉職地域交流促進事業（事業予算：421,000 円）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域集会 14 地区にて延 20 回（通信費 12 回分、会場賃借料 7 回分、印刷 12 回分） <p>④ 県内各地での社会福祉士の集い「ソーシャルワーカーカフェ」（年間 3 回）</p> <p>実施時期 2024 年 7 月 10 月 2025 年 3 月 カフェの企画会議（年間 3 回実施）</p>
広報部会活動予定
<p>① 広報部会運営費（事業予算：85,000 円）</p> <p>広報誌作成にあたる作業に対するスタッフ報酬 1 人 1 回：1000 円</p> <p>② 点と線（会報誌）作成（事業予算：814,000 円）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年 3 回発行、会員の活動発表の場を包含。

- ・印刷部数 2,500部 電子メールでの配信も実施
 - ・発送先：会員の他 行政、社会福祉施設、県民へ社会福祉士のPR
- ③ ホームページの更新（事業予算：8,000円）
- ・対象者：県民及び会員 社会福祉士試験の受験資格者等
 - ・内容：本会活動情報、求人情報、その他社会福祉士に関連する有益な情報の提供

(2) 総合相談委員会
活動方針
<p>【活動目的】</p> <p>総合相談とは、様々な相談を受け止め、適切な機関・制度、サービスにつなぎ継続的にフォローしていく。総合相談に関わる社会福祉士にとって一番大事にしたい様々などのつながりを、地域共生社会に向けていくには専門分野（縦）だけの繋がりではなく幅広い（横）繋がりを構築する。また繋がるだけでなく様々な相談を受け止めるための技術や知識を学び、相談援助職としてのスキルアップを図ることを目指していく。</p> <p>市町村や地域包括支援センター職員を対象とした研修開催や、虐待対応専門職チーム員としての会議参加等を通じ、高齢者虐待に関わる関係機関の支援を行う。</p> <p>【これまでの実績と今後の課題】</p> <p>総合相談委員会では、千葉県からの受託事業として高齢者虐待防止対策研修を開催している。2019年度から現行カリキュラムに変更している。2020年度以降 ZOOM を活用して開催したことで、遠方の方の参加が増えた。よって受講人数が増加傾向にある。</p> <p>県の高齢者虐待対応専門職チームへの派遣要請に対し、所定の研修を修了した会員を派遣し、必要な助言を行っている。</p> <p>市町村から市町村職員や地域包括支援センター職員向けの高齢者虐待対応研修講師派遣依頼を受け、講師として会員を派遣している。</p> <p>2023年10月に出張談話室（ソーシャルワーカーカフェ）を実施した。</p> <p>今後の課題として、</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 高齢者虐待防止対策研修を現在 ZOOM オンラインのみで開催しているが、会場開催も検討していく。一方で会場になると遠方で参加しづらくなる地域もあるので、どのようにしていくかを引き続き検討していく。 ② 虐待に関しては高齢者のみならず、障害者、児童に関連する研修を検討していく。 ③ ネットワークをつなげるだけでなく、相談援助職としてのスキルアップが出来るような研修等の構築を検討していく。
権利擁護部会（旧虐待対応部会）
<p>① 高齢者虐待防止対策研修（事業予算：1,360,000円）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・管理職、初任者対象 年間1回 実施時期 2024年8月 ・現任職員対象 年間1回（3日間）実施時期 2024年11月から12月 ・専門研修 年間1回 実施時期 2025年2月頃

② 高齢者虐待対応専門職チームへの派遣（事業予算：14,000円） 千葉県弁護士会と協働して、市町村や地域包括支援センター等からの要請に応じて高齢者虐待の相談対応を行う。
総合相談支援部会（旧相談部会）
① 相談援助職としてのスキルアップ研修会（年間1回）実施時期 2024年11月 （事業予算 あわせて80,000円）
備考 障害者、児童虐待防止法に関連する研修においては検討議案とする。

（3）研修委員会
活動方針
<p>所属する会員が社会福祉士の職務に関する知識及び技術の向上、倫理及び資質の向上のために、生涯にわたって研鑽を重ねることを目的とした『日本社会福祉士会生涯研修制度による研修』を中心に運営を行い、社会福祉士の受験対策や実習指導者養成を開催し、社会福祉士の資格獲得支援やスキルアップを目指す講座を行っていく。</p> <p>（1）基礎研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯研修制度の基礎課程「基礎研修Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ」を開催する。 ・基礎研修Ⅰ、Ⅱ、Ⅲについては、eラーニング及びオンライン及び一部集合研修にて研修を実施する。 ・基礎研修Ⅲ卒業後、生涯研修制度・基礎課程修了者を中心に、スーパービジョンのコーディネート支援が求められている。スーパービジョン支援については、日本社会福祉士会の名簿があるが、実際、受けてくれる方はわずかであり、当会としてシステムを作らなければならないが、現実的に厳しい。 ・将来に向けて質の高い社会福祉士の育成確保に向け、社会福祉士養成校や民間との連携を毎年模索しているが、予算の確保や人員確保が難しく、現状からさらなる他の養成校や民間などの連携にはいたってはいないが、現状の養成校などの連絡体制のパイプは維持していきながら努めていく。 <p>（2）実習指導者講習会</p> <p>当会の実習指導者講習会は毎年実施している。厚生労働省では社会福祉士養成カリキュラムの見直しが行われ、2022年度から新たな実習養成研修となっている。講師陣は当会で構成しており、今後も求められる実習指導の内容を伝えられるように続けていく</p> <p>（3）社会福祉士資格取得支援(国家試験受験対策含む) 事業</p> <p>質の高い社会福祉人材の育成に向け、社会福祉士養成校や民間との連携のもとで在学中および卒業後の学び合いの体制を構築していくことが求められている。特に養成校での国家試験受験対策や民間での受験者支援システムを展開していくことにより、社会福祉士の合格者を増やすため取り組んでいく。</p> <p>（4）新たな研修企画</p> <p>①倫理綱領は専門職として社会福祉士に求められている項目であり、会員、非会員に関係なく必要性が意識されている。今後、日本社会福祉士会の倫理綱領養成講師研修を受けたメンバーを招集し、研修の実施に向けて検討を図っていく。</p>

②地域共生社会の実現に向けて社会福祉士の立場、必要性が強く求められてる。地域で、社会福祉士はどのような立ち位置で業務を遂行していくべきなのか？今後、社会福祉士は、地域共生社会の実現に向けた専門職として求められている現状である。今後、日本社会福祉士会の地域共生社会の実現養成講師研修を受けたメンバーを招集し、研修の実施に向けて検討を図っていく。

③実習指導者フォローアップ研修

実習指導者研修は何度も開催を模索したものの、定員割れにて開催が実現できなかった。ただ、今回は、2022年度から新たなカリキュラムに内容が変わったことで、実習指導者講習会の受講生からフォローアップの支援がなければ思うように実習指導が難しいとの意向を受けて開催を検討している。

活動予定

- ① 研修啓発部会運営（事業予算：364,000円）
 - ・全体会議 年間2回 リーダー会議（オンライン集合 6回）
 - 新たな研修に向けた会議 年間3回
- ② 基礎研修事業（日本社会福祉士会 委託事業）
 - ア 基礎研修Ⅰ（事業予算：360,000円）
 - ・対象者： 60名程度
 - ・実施時期 2024年5月～2025年3月（年2回）
 - イ 基礎研修Ⅱ（事業予算：2,250,000円）
 - ・対象者： 50名程度
 - ・実施時期 2024年5月～2025年3月（年10回）
 - ウ 基礎研修Ⅲ（事業予算：2,250,000円）
 - ・対象者： 50名程度
 - ・実施時期 2024年5月～2025年3月（年8回）
- ③ 実習指導者講習会（事業予算：500,000円）
 - ・対象者：40名程度
 - ・実施時期 2023年11月中旬
- ④ 社会福祉士資格取得支援（国家試験受験対策）
 - ア ジェイシー教育研究所 WEB 模試問題作成（事業予算：1,575,920円）
 - インターネットを利用者した受験者支援システムを展開
 - ・実施時期 2024年6月～2023年3月
 - 倫理綱領研修（事業予算：30,000円）
 - ・対象者： 40名程度
 - ・実施時期 2024年4月
- ⑤ 日本社会福祉士会の監修をもとに千葉県社会福祉士会が運営する倫理綱領研修講師養成研修のメンバーが主導で地域の事情を考慮した上で開催内容を協議する。
地域共生社会の実現研修（事業予算：30,000円）
 - ・対象者： 20名程度
 - ・実施時期 2024年5月
- ⑥ 日本社会福祉士会の監修をもとに千葉県社会福祉士会が運営する。

<p>地域共生社会の実現研修講師養成研修のメンバーが主導で地域の事情を考慮した上で開催内容を協議する。</p> <p>実習指導者フォローアップ研修（事業予算：30,000円）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象者： 20名程度 ・実施時期 2024年6月 <p>⑦ 実習指導者講習会を開催するたびに要望が強いものの、開催を検討するたびに定員割れにできていなかったが、オンライン開催を軸に検討する。</p>
<p>備考 その他の活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本社会福祉士会生涯研修委員会議（9～10月頃・東京） ・基礎研修講師養成研修（2～3月頃・東京）

<h4>（４）権利擁護センターぱあとなあ千葉運営委員会</h4>	
<p>活動方針</p> <p>権利擁護センターぱあとなあ千葉は、専門職後見人として、成年後見人等を担う人材の養成を行なう。家庭裁判所・自治体・中核機関、関係機関等からの要請に応え、登録員の成年後見等の適切な受任を担う。地域共生社会の実現へ向けた権利擁護支援における「地域連携ネットワーク」の構築と「権利擁護支援チーム」におけるチームケアの実践に日々、励む。</p> <p>ぱあとなあ千葉の登録員は、社会福祉士の専門職として倫理綱領、行動規範に基づく、活動が進められるよう登録員をサポートできる体制づくりを行う。具体的には、電話相談、面談、初任者同行訪問、事務局、運営委員の体制整備（特に積極的なICT化と事務員確保、支部制に向けた準備）に取り組む。</p> <p>業務全体の事務執行に関する基盤整備として運営委員長、副委員長に対しての役員報酬の手当を創設し、安定した活動の継続ができるようにしていく。</p> <p>2回目となる活動報告書システムでの報告提出、各種研修申し込み手続き、ぱあとなあニュース等の案内は、ペーパーレスやデジタル化を基本とする。</p> <p>国の第二期成年後見制度利用促進計画を踏まえ、チームケアや意思決定支援の研修の充実を図る。適切な選任と交代の面では、高齢や病気での辞任、苦情対応、多数受任者の課題整理、困難ケースの対応にも組織として対応していく。</p> <p>各自治体や中核機関等と連携、協力の上、成年後見制度の健全な形での発展に向けたソーシャルアクションにも取り組む。</p> <p>【2024年取組課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・困難ケース、苦情案件の登録員への対応 ・名簿登録規程改正の整備 ・ICT化の推進（活動報告システム、個人ページ作成） ・委員長・副委員長・部会長手当創設 	
<p>運営委員会活動予定</p>	
①	<p>運営委員会運営（事業予算：594,000円）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会議 年間9回（オンライン7回、集合2回）、3役会議
②	<p>全体会（事業予算：57,500円）</p> <p>運営委員会が主催し、登録員に対し、ぱあとなあ千葉の事業に関する報告、情報提供するとともに、諸課題に関する意見交換を行なう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会議 年1回（集合）

③	<p>ぱあとなあ千葉ニュース（事業予算：243,600円） 登録員向けニュースレターの企画、編集、発行等を行なう。・発行 年4回</p>
④	<p>渉外・ソーシャルアクション（事業予算：92,000円） 一般市民、部外関係機関等に対する広報、渉外、ソーシャルアクション等を行なう。</p>
⑤	<p>未成年後見（事業予算：30,000円） 未成年後見受任のための体制整備、勉強会を行なう。 ・会議 年2回（集合1回、オンライン1回）</p>
⑥	<p>ICT推進（事業予算：225,000円） 会議 年3回(オンライン)52,500円 日本会システム料60,000円、システム管理スタッフ120,000円</p>
⑦	<p>支部設立準備会（事業予算：40,000円） 各地域の支部作り（ブロック化）の準備を行なう。 ・会議 年4回（集合1回、オンライン2回）</p>
⑧	<p>登録員のしおり（事業予算：60,000円）</p>
<p>研修部会活動予定</p>	
⑨	<p>研修部会運営（事業予算：90,000円） ・会議 年3回（オンライン3回）</p>
⑩	<p>成年後見人材育成研修（事業予算：670,000円） 収入1,800,000円(5万円×36名) 基礎研修Ⅲ修了者を対象に、成年後見人の人材育成研修を行なう。 ・研修 年1回 対象者：基礎研修Ⅲ終了者 受講単価50,000円</p>
⑪	<p>名簿登録研修（事業予算：194,500円） 収入180,000円(5千円×36名) 上記の成年後見人人材育成研修修了者を対象に、ぱあとなあ千葉の登録員となるための研修を行なう。受講単価5,000円 ・研修 年1回 対象者：人材育成研修終了者</p>
⑫	<p>必須登録員研修（事業予算：276,500円） 収入280,000円(千円×2×140名) 登録員全員が対象。後見活動に必須となる基本知識の再確認、新知識の習得等のための研修を行なう（年1回以上の参加が、次年度の後見人等候補者推薦の要件）。 ・研修 年3回（参加者：登録員のべ320名）受講単価1,000円</p>
⑬	<p>千葉サポート研修（事業予算：270,000円） 収入270,000円(千円×270名) 実務経験3年未満の登録員を対象として、後見事務の基本知識、スキルを習得する研修を企画、実施する。受講単価1,000円 ・研修 年6回（参加者：登録員のべ270名）</p>
⑭	<p>レベルアップ研修（事業予算：12,1000円） 収入120,000円（2,000円×2回×30名） 実務経験3年以上の登録員の知識、スキルアップに向けた研修を企画、実施する。 ・研修 年2回（参加者：登録員のべ60名）</p>
⑮	<p>弁護士との事例検討会事業（事業予算：92,000円） 収入120,000円(2,000円×30名) 登録員を対象、後見事務遂行上の法的課題に関する知識、解決方法を習得する研修を企画、実施する。 ・研修 年1回（対象者：登録員のべ30名）</p>
⑯	<p>支援者のための成年後見活用講座（事業予算：322,000円） 収入328,000円</p>

	<p>成年後見制度の普及、利用支援等に係わる自治体、福祉関係機関の支援者を対象として、成年後見制度に関する基本知識、活用方法の習得のための研修を企画、実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修 年1回（対象者：自治体、福祉関係者40名）
コーディネート部会活動予定	
⑰	<p>コーディネート（事業予算：977,000円）</p> <p>家庭裁判所、自治体等からの後見人等候補推薦の要請を受け、事案に相応しい候補を登録員の中から選出、依頼、確定し、推薦する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会議 年6回（オンライン） ・コーディネート作業（500件）1500円×500件=75,000円
⑱	<p>相談事業（事業予算：605,000円）</p> <p>一般市民、自治体・福祉関係者等から、成年後見制度の活用方法等に関する相談に関して、電話、訪問・面談に応じる。また、ぱあとなあ千葉登録員から、成年後見人等の活動等に関する相談に関して、電話、訪問・面談に応じる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電話相談 年150日、訪問相談 年30件
業務管理部会活動予定	
⑲	<p>活動報告書読込み作業（事業予算：920,220円）</p> <p>部会員が、登録員から毎年2月に提出される受任案件に関する活動報告書を読込み、後見事務遂行上の課題等を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会議 年3回（オンライン会議1回、集合会議1回） ・点検・読込み作業（1,800件）
⑳	<p>受任者面接（事業予算：222,500円）</p> <p>活動報告書の読込み等を通じ、課題を抱えている登録員、経験の浅い登録員、多数案件受任の登録員等に対して、部会員が面談し、必要な場合、指導、助言を行なう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・面接 年25人
㉑	<p>法人後見事業（事業予算：277,000円）報酬助成216,000円</p> <p>当会が受任した法人後見の実施、管理を行なう。</p>
報酬助成審査会	
㉒	<p>報酬助成事業（事業予算1,480,000円）受任会費3,400,000円（1件2,000円×1700件）</p> <p>無報酬・低報酬案件を受任した登録員に対する報酬助成制度の運用として、原資となる受任会費の徴収、報酬助成の申請受付、審査、支給に関する事務を行なう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受任会費徴収作業・報酬助成受付・審査・支給作業 ・ぱあとなあ事務に関するスタッフ報酬
その他	
㉓	<p>独立型社会福祉士部会 準備会（事業予算：30,000円）</p> <p>年3回会議（オンライン） 研修会の企画</p>
㉔	<p>リスクマネジメント部会（事業予算：0円）</p>
名簿登録	
㉕	<p>名簿登録料（事業予算1,062,000円）名簿登録料3,300,000円</p> <p>成年後見人等候補者名簿への登録を行う。</p>

<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本会負担金 330人×1,400円=462,000円 ・ 委員長、副委員長手当 委員長 24万円、副委員長 12万円×3名 =60万円

(5) 司法福祉委員会
活動方針
<p>司法福祉委員会は、刑事司法ソーシャルワーカーを育て、高齢者・障害者等の被疑者・被告人の支援に弁護士と共同し福祉的支援等に関わっていく。</p> <p>刑事司法ソーシャルワーカーとしての実質的な専門性習得を目指す認定機構研修の「刑事司法ソーシャルワークの実務基礎編・応用編」を開催する。</p> <p>2023年もハイブリッド研修を行い県内外から基礎編51名・応用編35名の参加があった。千葉県からの受講者は修了後に刑事司法ソーシャルワーカーとして登録することが出来る。千葉県弁護士会からの依頼をマッチング支援し、登録員が受任し被疑者の支援を実践する。その実践記録を基に学習会等で発表し司法福祉委員として活躍している。</p> <p>また、学習会では外部から専門分野の講師を迎えZOOM研修として県内外の受講者から好評を得ている。2023年度は「少年犯罪」を取り上げた。</p>
活動予定
研修部会
<p>刑事司法ソーシャルワーカー養成事業/基礎編・応用編（事業予算：1,200,000円、財源：参加費15,000円×50人×2（基礎編・応用編）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 対象者：県内外の社会福祉士、それぞれ50名程度 ・ 実施時期 2024年7月（基礎編）、2024年10月（応用編）予定
マッチング部会
<p>千葉県弁護士会からの依頼を受け、登録員の中から選出し受任している。</p> <p>2023年度は、いまのところ3件である。</p> <p>それぞれの地域・受任者の専門分野を尊重しながら登録員を選んでいる。</p> <p>今後は、依頼件数が増えるであろうと言われている。</p>
学習会
<p>学習会では、登録員の実践を発表してもらう。</p> <p>外部講師を依頼し専門性を高める。</p> <p>2023年度は「少年犯罪」を取り上げ、長年少年犯罪に取り組んでこられた講師を呼んだ。</p> <p>参加費：円2,000円、参加者：23名</p> <p>対象者：県内外の社会福祉士等。</p>
備考
<ul style="list-style-type: none"> ① 2023年度は他県からマッチング依頼があり、今後も他県との連携に力を入れたい。 ② マッチング支援では、2024年度から新受任者が希望すれば寄り添い支援の体制を作る予定である。

(6) 災害対策委員会
活動方針

千葉県社会福祉士会大規模災害対応ガイドライン（以下、「ガイドライン」）に基づき、以下Ⅰ～Ⅲの重点的活動方針により、大規模災害発生時に備える体制を整備するとともに、大規模災害発生時には、迅速かつ的確な被災地支援活動をおこなう。

Ⅰ 被災地支援体制の整備

被災地支援活動協力員名簿の適切な維持管理に努め、「ガイドライン」の理解等を目的に、「被災地支援活動説明会」を実施する。また委員会・協力員の良好なコミュニケーションを確保するために情報共有・意見交換等の活性化を図る。

Ⅱ 迅速かつ的確な被災地支援活動

大規模災害発生時には、速やかな会員・会組織の安否確認、被災情報の収集、災害本部の立上げ、ホームページを通じた被災地支援活動への協力呼びかけ、他団体との協力体制の構築、さらには、生活復興過程にある被災者への支援をおこなう。

Ⅲ 行政や専門職団体等との連携

千葉県、県社会福祉協議会のほか日本社会福祉士会、他都道府県社会福祉士会、千葉県災害復興支援士業ネットワーク加入団体（千葉県弁護士会等）、千葉県精神保健福祉士協会、千葉県医療ソーシャルワーカー協会その他の専門職団体、災害支援 NPO とも情報共有・研修等を通じて連携を進める。千葉県 DWAT についても、制度の周知、登録員のサポートをおこなう。

事業 1 委員会運営

< 1 > 事業目的

大規模災害発生時において、迅速かつ的確な被災地支援活動がおこなえるよう体制整備、関係団体との連携構築に取り組む。

< 2 > 事業予算：90,000 円（報酬 8 万 + 交通費 1 万）財源：すべて当会保有の流動資産

・委員会全体会議 年間 3 回（オンライン 3 回）

予算：委員報酬@2,500×6 人×3 回=45,000 円

・九都県市合同防災訓練参加 年 1 回（秋期）2 名参加

予算：参加者報酬@2,500×2 人=5,000 円

*変更⇒委員の外、人数 2 の範囲内で被災地支援活動協力員も報酬等支払対象とする。

・情報媒体「災・コ・メ」の年 4 回発行 予算：0 円（PDF オンライン配布のため）

・日本社会福祉士会、行政、社協等関係団体連携会議への出席

予算：委員報酬@2,500×2 人×6 回=30,000 円

・防災訓練、連携会議等参加に伴う旅費交通費 10,000 円

・新規事業⇒オンラインによる安否確認・協力要請訓練 予算：0 円（オンライン実施）

項目	金額（円）	説明：増減の理由等
2024 年度予算要求額	90,000	前年度比 10,000 増 合同訓練・連携会議等参加機会の増加
2023 年度当初予算額	80,000	前年度比 17,000 増 同上
2022 年度決算額	61,004	2022 年度当初予算額：50,000

事業 2 被災地支援活動説明会

< 1 > 事業の目的

被災地支援活動への理解促進、協力員登録者の確保・資質向上のために、説明会等（集合またはオンライン）を開催する。

< 2 > 事業予算：20,000 円 財源：すべて当会保有の流動資産

<ul style="list-style-type: none"> ・内訳：スタッフ経費⇒委員報酬@2,500×2人×3回=15,000円+交通費5,000円(2人) ・説明会等：①年度初期の新規協力員登録者向けオリエンテーション、②基礎研修「委員会紹介」、③現任協力員向け被災地支援活動説明会(交流機会創出に主眼) ・予算の変動：2023年度当初予算10,000円⇒2024年度予算要求20,000円 10,000増 *増額の理由：協力員登録者の増加傾向とこれに対するサポートの充実
<p>備考</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 被災地支援活動協力員登録者数の推移：2023年3月末126人⇒9月末143人(17人増) 2 災害対策委員会委員への新規就任者：2023年4月以降2名(委員数：11人⇒13人) 3 コロナウイルス感染症が5類感染症に移行⇒県外被災地支援経費の可能性⇒予備費で対応

<p>(7) その他</p>
<p>① 千葉県社会福祉士会倫理委員会</p> <p>会員による倫理綱領違反等が疑われる事案が発生した場合、苦情手続規則に基づき倫理委員会が審査を行い、本会に所属する社会福祉士の倫理及び資質の向上に努めていく。</p>
<p>② 松戸市居住不安定者等居宅生活移行支援事業業務受託</p> <p>2016年度から松戸市より委託を受けている本事業も8年目に入り、本業務は、住まいを失った、又は失うおそれのある生活困窮者及び生活保護受給者(以下「生活保護受給者等」という)に対し、民間賃貸住宅又は社会福祉法に規定する事業を行うための施設等(無料低額宿泊所等を除く。以下「社会福祉施設」という)への入居(以下「居宅生活移行」という)を促進するとともに、居宅生活移行後も地域での安定した生活を維持し円滑に定着できるように継続して支援し、もって自立を促進することを目的とする業務である。</p> <p>具体的には、(1)支援対象者に対し、居宅生活移行に関する次の相談支援業務を行う。①無料低額宿泊所等の入居者に対する社会的自立支援に関すること。②居住先となる民間賃貸住宅及び社会福祉施設の確保支援に関すること。③家賃滞納者等の家賃の代理納付の推進に関すること。(2)支援対象者に対し、居宅生活移行後の地域生活の定着・維持に関する次の相談支援業務を行う。①年齢や心身の状況などに応じた支援策の策定に関すること。②円滑な地域生活への移行及び安定した地域生活の定着・維持のための支援に関することを常勤1名非常勤1名を配置して事業受託を継続していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・想定委託期間：2024年4月1日から2025年3月31日まで ・想定委託金額：13,209,691円
<p>③ 千葉県相談支援従事者専門コース別研修事業(意思決定支援)業務受託</p> <p>障害のある人やその家族等からの相談に応じる相談支援従事者等を対象に、相談支援従事者現任研修とは別に専門的知識の取得やスキルアップ等の機会を設け、県内における相談支援の質の向上を図ることを目的とする。研修テーマは、意思決定支援に関すること、内容は、障害児者個々のニーズに応じた支援を提供できるよう、障害特性や社会資源の理解を図ることができるようになる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・想定委託期間：契約締結の日から2025年3月31日まで ・想定委託金額：254,000円(令和5年度上限額：参考)

2023年度(令和5年度)補正予算書 2023年4月1日～2024年3月31日

(単位:円)

科目			2023予算(補正反映後)			2024予算		
大項目	中項目	小項目	(収入)	(支出)	収入-支出	(収入)	(支出)	収入-支出
1	会費		27,835,000	8,867,500	18,967,500	29,302,000	9,476,000	19,826,000
	1	会費	24,359,000	8,067,500	16,291,500	25,822,000	8,400,000	17,422,000
	1	正会員	24,345,000	8,067,500	16,277,500	25,800,000	8,400,000	17,400,000
	2	準会員	2,000	0	2,000	10,000	0	10,000
	3	賛助会員	12,000	0	12,000	12,000	0	12,000
	4	負担金(2022年度～会費規則第2号)	0	0	0	0	0	0
	5	入会金	0	0	0	0	0	0
	2	ばあとなあ登録料	3,476,000	800,000	2,676,000	3,480,000	1,076,000	2,404,000
	1	ばあとなあ名簿登録料	3,405,000	800,000	2,605,000	3,400,000	1,076,000	2,324,000
	2	ばあとなあ準会員登録料	71,000	0	71,000	80,000	0	80,000
2	事業費		29,755,974	28,227,700	1,528,274	31,153,611	29,964,934	1,188,677
	1	総務事業	70,000	1,297,241	△ 1,227,241	66,000	1,282,188	△ 1,216,188
	1	企画部会運営費	0	22,500	△ 22,500	0	22,500	△ 22,500
	2	SW3団体及びその他職能団体との協働事業費	0	47,668	△ 47,668	0	32,688	△ 32,688
	3	福祉職地域交流促進事業費	2,000	300,000	△ 298,000	0	249,000	△ 249,000
	4	広報誌作成費	68,000	851,073	△ 783,073	66,000	887,000	△ 821,000
	5	広報部会運営費	0	76,000	△ 76,000	0	83,000	△ 83,000
	6	WEB維持管理費	0	0	0	0	8,000	△ 8,000
	2	総合相談事業	1,384,000	499,000	885,000	1,484,000	1,069,000	415,000
	1	総合相談委員会運営費	0	0	0	0	80,000	△ 80,000
	2	高齢者虐待防止対策研修会(県事業)	1,364,000	459,000	905,000	1,364,000	869,000	495,000
	3	高齢者虐待対応専門職チーム(千葉県高齢者虐待対応市町村支援事業)	20,000	40,000	△ 20,000	120,000	120,000	0
	4	無料相談事業	0	0	0	0	0	0
	5	こどもに関する取組	0	0	0	0	0	0
	6	千葉県高齢者虐待対応マニュアル改訂事業	0	0	0	0	0	0
	7	総合相談業務を担う社会福祉士の集い	0	0	0	0	0	0
	3	研修事業	6,741,400	3,678,064	3,063,336	7,340,920	5,065,116	2,275,804
	1	研修委員会運営費	0	150,000	△ 150,000	0	300,000	△ 300,000
	2	県民公開講座(研究大会・総会)	0	0	0	0	30,000	△ 30,000
	3	基礎研修Ⅰ	300,000	250,000	50,000	360,000	486,764	△ 126,764
	4	基礎研修Ⅱ	1,851,000	830,000	1,021,000	2,250,000	1,244,873	1,005,127
	5	基礎研修Ⅲ	2,088,000	750,000	1,338,000	2,250,000	950,673	1,299,327
	6	ジェイシー教育研究所web模試 問題作成	851,400	749,453	101,947	1,575,920	1,433,170	142,750
	7	社会福祉士取得支援講座(和洋女子大学)	700,000	348,865	351,135	0	0	0
	8	実習指導者講習会	491,000	308,033	182,967	500,000	294,036	205,964
	9	実習指導者フォローアップ研修	0	0	0	150,000	105,200	44,800
	10	倫理綱領研修【新規】	0	0	0	135,000	115,200	19,800
	11	地域共生社会の実現(研修)【新規】	0	0	0	120,000	105,200	14,800
	12	淑徳大学	460,000	291,713	168,287	0	0	0

科目			2023予算(補正反映後)			2024予算		
大項目	中項目	小項目	(収入)	(支出)	収入-支出	(収入)	(支出)	収入-支出
4	ばあとなあ千葉運営事業		6,013,000	7,838,297	△ 1,825,297	6,669,000	7,722,820	△ 1,053,820
	1	ばあとなあ委員会運営費	0	850,000	△ 850,000	0	684,000	△ 684,000
	2	相談事業	0	405,000	△ 405,000	0	605,000	△ 605,000
	3	成年後見制度活用講座	256,000	235,000	21,000	328,000	246,000	82,000
	4	成年後見人材育成研修(委託研修)	1,800,000	800,000	1,000,000	1,800,000	670,000	1,130,000
	5	法人後見事業	247,000	230,000	17,000	216,000	277,000	△ 61,000
	6	活動報告書読み込み作業	0	740,000	△ 740,000	0	920,220	△ 920,220
	7	渉外・ソーシャルアクション	0	80,000	△ 80,000	0	92,000	△ 92,000
	8	受任者面接	0	195,500	△ 195,500	0	222,500	△ 222,500
	9	ばあとなあ千葉ニュース	0	223,600	△ 223,600	0	243,600	△ 243,600
	10	コーディネート会議	0	947,000	△ 947,000	0	977,000	△ 977,000
	11	名簿登録研修	140,000	217,563	△ 77,563	180,000	194,500	△ 14,500
	12	必須登録員研修	374,000	290,000	84,000	280,000	255,500	24,500
	13	千葉サポート	282,000	120,000	162,000	270,000	246,000	24,000
	14	レベルアップ研修	96,000	113,634	△ 17,634	120,000	120,000	0
	15	家裁事務報告書指導	0	0	0	0	0	0
	16	テーマ別弁護士との事例検討会	69,000	107,000	△ 38,000	60,000	92,000	△ 32,000
	17	独立型社会福祉士部会準備会	21,000	30,000	△ 9,000	0	30,000	△ 30,000
	18	関東甲信越ブロック連絡会	0	0	0	0	0	0
	19	ばあとなあ千葉全体会	0	35,000	△ 35,000	0	57,500	△ 57,500
	20	個人情報保護 相談委託業務	0	0	0	0	0	0
	21	リスクマネジメント部会	0	0	0	0	0	0
	22	未成年後見	8,000	60,000	△ 52,000	15,000	45,000	△ 30,000
	23	×研修部会運営	0	0	0	0	0	0
	24	報酬助成事業(受任会費含む)	2,720,000	1,960,000	760,000	3,400,000	1,480,000	1,920,000
	25	支部設立準備事業	0	0	0	0	40,000	△ 40,000
	26	ICT推進	0	199,000	△ 199,000	0	225,000	△ 225,000
	27	役員報酬(仮)【新規】	0	0	0	0	0	0
5	司法福祉		1,424,600	665,969	758,631	1,210,000	573,000	637,000
	1	司法福祉委員会運営費	0	100,000	△ 100,000	0	120,000	△ 120,000
	2	司法福祉学習会	42,000	27,969	14,031	10,000	29,000	△ 19,000
	3	刑事司法SW養成講座(基礎)	851,200	350,000	501,200	600,000	190,000	410,000
	4	刑事司法SW養成講座(応用編)	531,400	188,000	343,400	600,000	213,000	387,000
	5	マッチング支援	0	0	0	0	21,000	△ 21,000
6	災害対策		0	135,000	△ 135,000	0	110,000	△ 110,000
	1	千葉県社会福祉士会災害対策委員会	0	135,000	△ 135,000	0	90,000	△ 90,000
	2	被災地支援活動説明会	0	0	0	0	20,000	△ 20,000

科目			2023予算(補正反映後)			2024予算		
大項目	中項目	小項目	(収入)	(支出)	収入-支出	(収入)	(支出)	収入-支出
	7	その他	14,122,974	14,114,129	8,845	14,383,691	14,142,810	240,881
	1	千葉県社会福祉士会倫理委員会	0	140,000	△ 140,000	0	300,000	△ 300,000
	2	選挙管理委員会	0	77,000	△ 77,000	0	0	0
	3	法人後見監査業務委員会	0	0	0	0	80,000	△ 80,000
	4	居住確保支援事業	12,996,352	11,922,274	1,074,078	13,209,691	12,008,810	1,200,881
	5	千葉県生涯研修センター	0	0	0	0	0	0
	6	社会福祉士会活性化事業	852,622	684,855	167,767	1,124,000	754,000	370,000
	7	講師派遣事業	274,000	250,000	24,000	50,000	45,000	5,000
	8	IICT推進委員会	0	1,040,000	△ 1,040,000	0	955,000	△ 955,000
			0	0	0			0
	3	事務費	0	22,645,774	△ 22,645,774	0	22,765,000	△ 22,765,000
	1	消耗品費	0	860,000	△ 860,000	0	450,000	△ 450,000
	2	印刷製本費	0	880,000	△ 880,000	0	950,000	△ 950,000
	3	通信運搬費	0	1,000,000	△ 1,000,000	0	1,400,000	△ 1,400,000
	4	慶弔費	0	0	0	0	30,000	△ 30,000
	5	賃金等	0	11,238,683	△ 11,238,683	0	10,875,000	△ 10,875,000
	6	法定福利費	0	1,900,000	△ 1,900,000	0	2,500,000	△ 2,500,000
	7	水道光熱費	0	190,000	△ 190,000	0	250,000	△ 250,000
	8	賃借料	0	1,100,000	△ 1,100,000	0	1,050,000	△ 1,050,000
	9	委託料	0	3,650,000	△ 3,650,000	0	3,325,000	△ 3,325,000
	10	役員報酬	0	987,500	△ 987,500	0	1,325,000	△ 1,325,000
	11	役員旅費	0	200,000	△ 200,000	0	150,000	△ 150,000
	12	役員選挙事務費	0	240,000	△ 240,000	0	20,000	△ 20,000
	13	保険料	0	40,000	△ 40,000	0	50,000	△ 50,000
	14	会議費	0	73,300	△ 73,300	0	110,000	△ 110,000
	15	諸会費	0	50,000	△ 50,000	0	30,000	△ 30,000
	16	雑費	0	236,291	△ 236,291	0	250,000	△ 250,000
	4	助成金	0	0	0	0	0	0
	5	寄付金	0	0	0	0	0	0
	6	繰越金	2,750,000	0	2,750,000	2,400,000	0	2,400,000
	7	雑収入	100,000	0	100,000	50,323	0	50,323
	8	租税公課	0	700,000	△ 700,000	0	700,000	△ 700,000
	9	敷金支出	0	0	0	0	0	0
	10	予備費	0	0	0	0	0	0
	11	配分金	0	0	0	0	0	0
	総計		60,440,974	60,440,974	0	62,905,934	62,905,934	0